令和元年12月15日発行（毎月1回15日発行）第517号

すべての子供の学力を保障する

教育トークライン

1
2020
January
No.517
東京教育技術研究所

特集

今年こそ、もっと良い先生になりたい

―指導力を確実に伸ばすTOSSの教師修業システム―

永久保存版！

4・8・1月号限定
TOSS 授業技量検定 高段者の国算授業

小学1年　算数「どんなしきになるかな」　手塚美和
小学2年　算数「はこの形」　谷　和樹
小学3年　算数「2桁×2桁の筆算」　河田孝文
小学4年　算数「小数点の移動」　鈴木恭子
小学5年　算数「立体の性質」　松崎　力
小学6年　算数「速さ」　木村重夫

中学校の授業実践
理科「自由度を高めた『電池』実験」
保健体育「誰もが打つ、走る、ソフトボールの授業」

一目で分かる
板書術・ノート術

カラーで登場！
酒井式絵画指導

特別支援教育にも対応
医師・研究者の目から見た特別支援教育 …… 安原昭博
プロが教える“教室でできる不登校支援” …… 小柳憲司
学校現場のスペシャリストが教える合理的配慮

デジタル DIGITAL 教育トークライン
トークラインを定期購読頂いている方へ、本誌の内容をより深く理解できる動画と写真が満載のウェブサイトです！

教師の技量は学ばなければ伸びない
学び、挑戦することで、良い教師への道が開ける!!

明日の授業にすぐに役立つ！ 実践的なスキルが満載!!

購読者限定WEBサービス

http://talkline.tos-land.net
デジタルトークライン 検索

デジタル・トークライン

お得がいっぱい！

今、ここでしか見られない動画！

谷編集長の濃厚すぎる５分間

今月は「衝撃が走った伝説の『立ち会い授業』」

とてつもなく大好評！
TOSS 教師 Q&A は、伴一孝氏の

「授業理論①」

そのほかの内容は p.80 をご覧ください。

ダウンロードコンテンツも満載！

本誌 PDF データもダウンロードできます！

36 ページの連動企画では、そのまま使える資料をダウンロードできます！

お試し版もはじめました！

ID・パスワードなしで見られるお試しページを開設しました。周囲の方に、ぜひ、ご紹介ください‼

トップページの下にあるこのバナーをクリック！

3か月の期間限定公開！今すぐアクセス！

＜アクセス方法＞
PC・スマホでサイトにアクセス！
トップページのログインをクリックし、ID とパスワードを入力してください。

※ TOSS-SNS に入会されている方は、SNS からアクセスできます。

今月のトークラインID・パスワード

ID：TL1

※有効期間：2019年12月15日～2020年3月14日

（ケー・エイチ・ジェイ・ジー・エー・ぜろ）

khjga0

＊TOSS ランドの殿堂入りコンテンツもこのパスワードでご覧いただけます。

教師として大切なこと

回答：向山 洋一（むこうやま よういち）
（TOSS代表）
質問：師尾 喜代子（もろお きよこ）
（TOSS中央事務局）

Q 向山先生が教師として大切だと思うことは何ですか。

これまで、教師になったわけやサークルをつくる理由など、向山先生の歴史をお聞きしてきました。では、向山先生が教師として大切だと思うことは何ですか。

A 教師の仕事として大切なのは、まず「授業」です。それから、「統率力」です。

教師として大切なことは幾つかありますが、まずは「授業」です。授業が楽しくて知的だということです。楽しいだけでは駄目です。知的で頭を使い「賢くなった」と思わせる授業でなければなりません。また、授業の中にクイズ的要素を取り入れると効果的です。ちょっとしたことでいいのです。例えば黒板に右手と左手をわざと位置をずらして置き、「先生は右手の方が長いんだよ」のように言ってみると、「嘘だよ先生！」と、子供たちは大盛り上がりになります。シンプルで分かりやすく、子供たちがすぐに指摘できるようなことをするのです。

次に、教師として大切なのは「統率力」です。一番駄目なのは、「教室全体をまとめられない」ということです。新卒の先生方は、教室がざわざわとしていて、何か指示を出してもあちこちで別のことをしているような状態に悩みます。よくありがちなのが、いろいろな言葉を使って、一つ一つ全部説得しようとすることです。「説教型」ともいいます。そうすると、子供たちは反発してしまい、教室がざわざわしてしまうのです。

やんちゃな子供は、正しいことを言い聞かせても、言うことを聞きません。長く説明すればするほど、言われていることが分からなくなってしまいます。指示は、短い言葉でいいのです。

さらに、わざと簡単な問題を出してみて、できた子を大げさに褒めるようなことをしてみると、子供たちは集中してきます。そういったフェイントのようなものも入れていくと、次第に言うことをきくようになってくるのです。

教育トークライン 1月号 2020

CONTENTS No.517 表紙：信吉

特集 10

今年こそ、もっと良い先生になりたい

―指導力を確実に伸ばすTOSSの教師修業システム―

12 「授業の導入をどうするか」が、授業の腕を上げる第一歩である 堂前直人
13 紙（指導案）を見ないで授業ができる 久野　歩
14 子供が熱中するものには原則がある「変化のある繰り返し」 田丸義明
15 日々の授業が劇的に変わるD表検定 平山　靖
16 ロジカルな指導案を作成する方法 松崎　力
17 論理的でオリジナルな単元を成立させる基礎研究２つの視点 木村重夫
18 これからの日本を創るための重要な力 小野隆行
19 授業技量検定初受検は「誰でも・どこでも」可能 鈴木良幸
20 分析批評B型は、作品全体を分析する 林　健広
21 「長さくらべ」から学んだ教材研究をする際に大切なこと 岩田史朗
22 社会　教科書の「知識分析」が単元計画の出発点 川原雅樹
23 「マイクロビット」を活用したSTEAM教育の可能性 許　鍾萬
24 吉永順一氏の先行研究を指標として考える 原田朋哉
25 「計算ドリル」をびりびりと破り捨てたA君 岩永将大

1 向山洋一に聞く　教育Q&A　第５回
教師として大切なこと
A 向山洋一

写真で解説！　一目で分かる指導のコツ
4 子供が変わる！　授業が変わる！ 超凄腕　板書術・ノート術
向山型算数の評定は三種類である 林　健広
6 大成功の絵画工作授業
難度の高い「建造物」をどう表現させるか 酒井臣吾
8 教師の微差力
ラミネートの角は丸く切っておく 久野　歩

道標：教師としての高みを目指して
26 特別連載 新時代の学校物語 22
新学習指導要領実施の年 向山行雄
28 オピニオン 今、教育界で起こっていること
ＳＤＧｓの授業プラン（その５） 谷　和樹
30 向山洋一が教育界に創ってきたもの
言葉の限界が仕事の限界である 吉永順一

警告 ①本誌の内容の全部または一部を無断でインターネット等で転載することを禁じます。②向山著作をはじめとするTOSS関連論文を追試、その他の名目でインターネット上で公開することも禁じます。③授業または研究等で必要な場合は、TOSS代表向山洋一までご連絡下さい。④著作権法を無視し続けた場合には、法的措置を取らせて戴きます。

デジタル・トークライン http://talkline.tos-land.net
大好評の「お悩み解決！ 谷編集長の5min.アンサー」。今月のテーマは「衝撃が走った伝説の『立ち会い授業』」です。
その他、必見・必聴の動画や画像、音声を本誌読者に限定公開中！　本誌連動の画像も満載です。 デジタル連動

［国算］　４・８・１月号特別企画！　あの高段者の国語・算数授業
38 算数 どの子もできるようになる算数の授業 手塚美和 1年
40 算数 楽しい活動を効率的に進める 谷　和樹 2年
42 算数 3年生の難関単元「2桁×2桁の筆算」は、補助計算とかいだんで攻略する 河田孝文 3年
44 算数 小数点の移動を視覚化する 鈴木恭子 4年
46 算数 立体の性質を実感させる 松崎　力 5年
48 算数 教師の言葉が減っていき、子供が活躍するようになる向山型算数 木村重夫 6年

「基礎・基本の授業例」と「主体的・対話的で深い学びの授業例」
50 理科 ４年「物のあたたまり方」の基礎・基本 髙木順一
51 理科 ４年「物のあたたまり方」の主体的・対話的で深い学び 髙木順一

新学習指導要領対応　道徳・英語の授業実践
52 道徳 「国際理解・国際親善」の資料で、寛容さを育てる 堀田和秀
53 英語 最終単元は「答え方７」でディベートを！ 苅谷尚久

中学校の授業実践
54 理科 自由度を高めた「電池」実験 上田浩人
55 保健体育 誰もが打つ、走る、ソフトボールの授業 岡　拓真

授業が激変！　TOSS指導法最前線
32 「ＴＯＳＳメモ」で中心人物を分析する 太田政男

クラス全員が熱中するこの教材！
34 定番教材「五色百人一首」（東京教育技術研究所） 水本和希
35 主体的な学びにつながる「都道府県フラッシュカード」（正進社） 田中健太
35 事前準備ゼロ！　配って読むだけで授業が成立するテキスト 西尾　豊
36 教えて褒めるが教師の仕事 高杉祐之

教師必読！ トラブルに巻き込まれないための予備知識
37 教育委員会の議事録で自分の名前が公開された場合 A 中井　光

特別支援教育　専門家の視点＆全国で大人気 小嶋・小野二人の“特別支援教育の指導システム”
56 教室から出て外で過ごしてしまう子への対応 安原昭博
57 保護者との支援会議における問題行動の共有① 小嶋悠紀
58 長文の読み取りの困難性と対応 小野隆行
59 不登校の年齢による違い② 小学校高学年～中学生の不登校 小柳憲司

新しい時代の教育課題
60 書字障害への効果的対応を学ぶ 手塚美和
61 「スクラッチJr.」でプログラミング体験 塩谷直大

授業技量向上の法則
62 パイナップルの地図記号は「畑」か「果樹園」か？ 篠崎栄太
63 向山洋一氏の生活指導論と生活綴り方 板倉弘幸
64 授業のベーシックスキル６「授業での対応・応答」㉒ 谷　和樹
65 その場で授業の「代案」をやってみせる 伴　一孝
66 委嘱研究発表会にＴＯＳＳの主張をビルトインする 長谷川博之
67 教育的な赤鉛筆の闘いをしていますか？ 門間政博
68 崩れゆく完全犯罪２ 松崎　力
69 担任を馬鹿にする子供への対処法 A 小野隆行

人気女性ライター トークラインだけの裏話
70 師尾喜代子
71 向山恵理子
72 美崎眞弓

73 特別連載 脳科学と教育　第十回
「学びに向かう力」と「非認知能力」 髙橋史朗

78 地域と学校をつなぐ社会貢献教育　教育コミュニティ
全国で展開する自立学習教室「ＴＯＳＳ Ｋｉｄｓ Ｓｃｈｏｏｌ」 稲田好子

75 ◆ TOSS 最新セミナー情報　手塚美和
◆ 全国のTOSSサークル紹介　藤橋　研／青木翔平
76 ◆ 向山・谷日記　向山洋一／谷　和樹
80 ◆ 今月のデジタル・トークライン／次号予告／編集後記

子供が変わる！授業が変わる！ 超凄腕 板書術・ノート術

向山型算数の評定は三種類である

算数の説明問題は、A型の評定が盛り上がる。

山口県下関市立小月小学校　林健広（はやしたけひろ）

向山型算数には、三つの評定がある

評定(1)　○×型

○×型で大事なことは、子供に列を作らせないことである。原則だ。

ポイントは、①一問だけ評定する②説明しない　である。

評定(2)　「一〇〇点」型

向山洋一氏のわり算の授業音声である。

「百二十枚の色紙を一人に三十枚ずつ分けます。色紙は何人に分けられますか」の問題。向山氏は、子供たちに言う。

「答えが知りたいのではない。あなた方はどういうふうに考えて答えを出したのか、頭の中が知りたいのです」

「先生は一〇〇点だとか五〇点だとか点数を付けます」

ここから三つのステップが始まる。

ステップ1　完全に手放しで考えさせる

子供たちがノートを持って来る。

「これは一五点ぐらいですね」

「これは二〇点ぐらいですね」

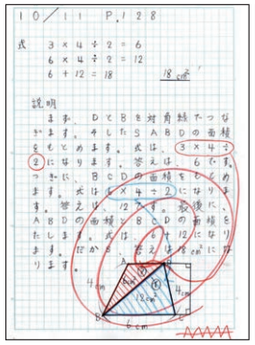
「合ってるんだよ。間違ってないよ。先生が言うのは、どのように考えたのか向山先生に分かるように書いていらっしゃいということなんだよ」

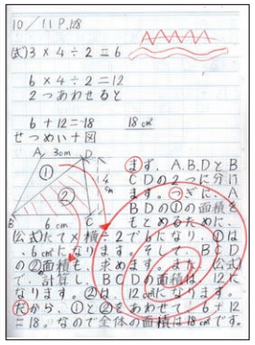
「二〇点、進歩した」

ほぼ完全に手放しである。アドバイスはない。評定の点数は低い。しかし、いや、だからこそ、子供たちは、熱中度が高まっている。向山氏は更に演出する。

「今のところ最高点二〇点」

最高点を出すことで、更に熱中度は増す。





ステップ2　評定基準を示す

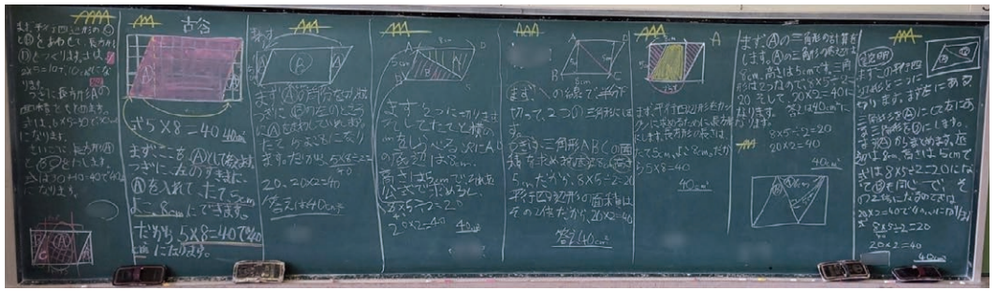
子供たちは、更にノートを持って来る。何度も持って来ている。

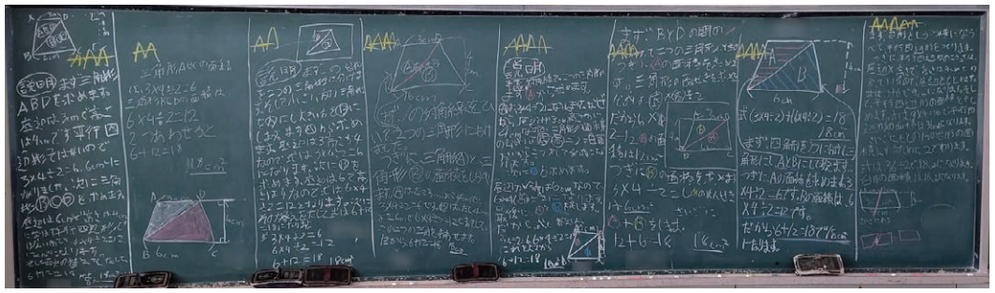
「これに計算が加わった。三五点」

「先生はこちらの方が分かる。五〇点」

「五〇点の人は絵で持って来ました」

完全に手放しではなくなってくる。評定の基準を示している。計算を加えれば点数が高くなる。絵を加えれば点数が高くなる。十分後には、「計算だけ書いてあるのは一五点ぐらい。式と計算が書いてあるのは二〇点。計算が工夫してある。三〇点から三五点」と向山氏は言う。大事なことは、いきなり評定基準を示すのではないことだ。子供たちの良い考えを取り上げる。その上で、評定基準を示すのだ。褒められた子は、うれしさが倍増する。





ステップ3　黒板に書かせる

良い点数は黒板に書かせる。

「これとっても良いですよ。文句の付けようがない。六〇点。これ書いてもらおうかな」と進めていく。

評定(3)　「A」型

「一〇〇点」型と「A」型には、明確な違いがある。間違いがない、どんなやり方でも良いときは「A」型を使う。

上の写真も、「A」型である。

「公式まで書いてある！　A！」

「図に矢印を書き込んだのかぁ、A！」

「図がいいなぁ。色を分けたのか！　A！」

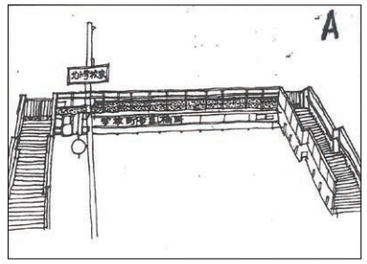
と褒めていく。褒めれば褒めるほど、授業は盛り上がる。

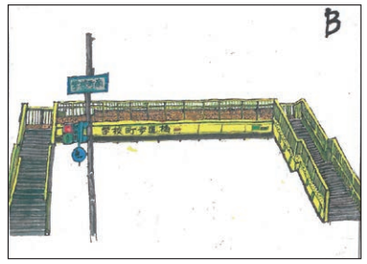
デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

難度の高い「建造物」をどう表現させるか

画面の中の主役を生かすことで、すてきな絵が完成する。

酒井式描画指導法　酒井臣吾（さかいしんご）





現場で描くのが望ましいが、危険もあるので写真を撮っておき、それをAのように下絵にする。写真をトレースしてもよいが、できれば模写をする方がよい。

現実の色にとらわれずに明るく派手な色彩でくっきりと彩色すること。

常に、この歩道橋が主役であることを意識させるように指導を進めてほしい。中でも階段と手すりはポイントである。しっかりと観察させよう。

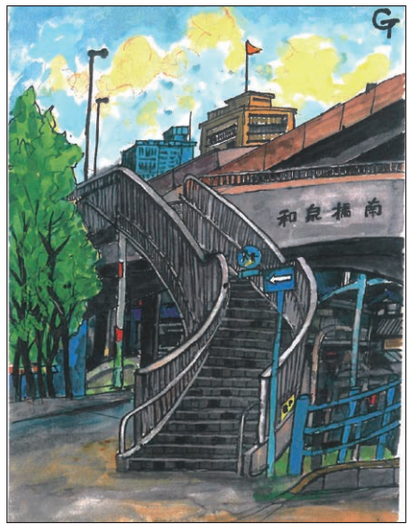
1．空を着色する。雲があると歩道橋の水平線が引き立つ。
2．橋の周囲のものは鉛筆で下描きし、ペンで描く。
3．着色は、薄く二度、三度と重色して完成させる。

橋げたの下の部分の黒は、黒ではなく何度も重色した結果である。まず朱色で塗っておき、それが乾いてから二度、三度と青や藍色で重色する。

Dは、道の中央近くから撮った写真を基に描いたものである。特に家並は子供たちにとって大変な苦労を強いることになる。しかし、子供たちは意外にその難しさを好む。難しさにたくましく挑戦するその姿勢をしっかりと褒め続けよう。

一本の線にしか見えない部分も、よく見ると二本であったり三本であったりする。根気よく描き込むよう励まし続けよう。

E・F・Gは全て階段に向かった構図である。この構図は大変描写が難しいが、最もやりがいのある構図でもある。



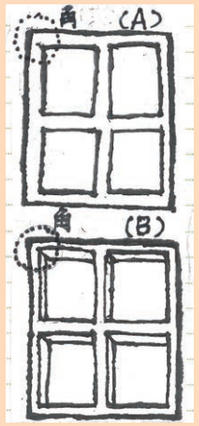
三枚ともに主役は歩道橋である。主役をしっかりと目立たせてテーマを明確に主張してほしい。

そのためには、まず主役の形をしっかりと描写すること。次に本物の色にとらわれることなく、目立つ色を選択すること。そして陰の部分は思い切りよく、くっきりと暗くすることである。

主役の周囲は、ここに掲げた作品のように暗くし、主役を引き立てること。

五、六年生向き。力の付いてきた六年生の卒業制作などには最適である。

初心者のためのワンポイントアドバイス



(A)も(B)も窓である。子供はほとんど(A)のように描く。(A)のように見えるからである。

私はよく「角をよく見てごらん」と角を観察させてから、角の部分を描いてみせる。そして同じように描かせてみる。

このときの子供たちの反応はすこぶるよい。

「なるほど!!」明るい笑顔だ。

もちろん、これ一発で立体的表現は完成しない。しかし、建造物を見る目が一歩深まることは確かである。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

教師の微差力

ラミネートの角は丸く切っておく

教師が細部にわたって注意していることにより、子供たちや保護者の安全に関する意識を高めることができる。

東京都目黒区立五本木小学校　久野歩（くのあゆむ）

1　対象学年・準備物

全学年・はさみ

2　アイデアのねらい

様々な掲示物にラミネート加工をすると、便利なことは言うまでもない。

しかし、ラミネートしたシートをそのまま活用できればいいのだが、切らなくてはならないときがある。例えば、習字のときに使う名札などがそうだ。

ラミネートしたものをはさみなどで切ると、子供たちが切った角でけがをしやすくなる。

そこでラミネートしたものの角は、はさみで教師が丸く切っておくようにする。

一手間掛かるが、安全管理には欠かせない配慮と言える。

3　ポイント

ラミネートしたものを子供たちに配付したり、使用させたりする場合には、必ず角を丸くしておくようにする。

これを行っていないと、顔や目を切ってしまうなど、大変なことになりかねない。

4　実践前

子供たちは、教師の予想を超えてどんなけがをするのか分からないものだ。

例えば、ラミネート加工したものを振り回して、友達にけがをさせたり、擦って手を切ったりするなど、様々な状況が考えられる。

かすり傷ほどでは済まない事態にもなりかねない。

5　実践後

角を丸くしておくと、とがった角で、思わぬけがをさせてしまうのを防ぐことができる。

また、教師が細部にわたって注意していることによって、子供たちや保護者にも安全に関しての意識を高めることもできる。

万全な対策をしておくとよい。

6　アップデートアドバイス

はさみではなく、爪切りを使用する方法もあるが、はさみの方がより滑らかに切ることができる。

さらに、ラミネートの尖った角を丸く切るためのコーナーカッター「かどまる」※という専用の文房具もある。

※サンスター文具株式会社の商品

イラスト：井手本 美紀

2020年
1月号
特集

今年こそ、もっと良い先生になりたい

―指導力を確実に伸ばすTOSSの教師修業システム―

◆ **TOSS授業技量検定で子供熱中の授業力を付ける**
＜入門編＞Ｅ表・Ｆ表　この技能を学んだだけで授業が変わる
＜初級＞Ｄ表を突破　子供たちが劇的に熱中する授業力
＜中級＞Ｃ表で必要な力　論理的な単元構成能力を身に付けよう
＜上級＞Ｂ表・Ａ表とはどのような力なのか
TOSS授業技量検定　受検ガイドマニュアル

TOSS授業技量検定は、Ａ～Ｆ表の各評価項目に沿って採点し、合計得点によって認定級（段）が決まります。

◆ **教材研究の方法～教材解釈がもたらす授業の深み～**
国語　分析批評「Ｂ型」で一単元を構成する
算数　「向山型算数以前の向山の算数」から学ぶ知の世界
社会　教科書の「知識分析」が単元計画の出発点
理科　最先端、日本のSTEAM教育を進めるための初めの第一歩

◆ **子供の事実から出発する**
子供たちの実態を根拠をもって数値的に捉える
～国語編～
～算数編～

イラスト：渡邊 瑞穂

1

教員採用試験の倍率が下がっています。

二倍程度の教育委員会も出てきました。あくまでも公式発表の数字です。各地で産休代替の先生が足りないなどの問題が頻発しています。非常勤として採用される人も考慮すると、実質は二倍以下だろう……。そんな声も聞きました。

「教師になりたい人はみんななれる」といって大げさではない状況です。

次のような若い先生が実際にいるといいます。

①休み時間に全く子供と遊ばない。
②授業が崩壊している。子供たちが全く聞いていない。それなのに、何も気にしていない。
③小学校の算数の教科書に載っている問題が解けない（基本的な学力がない）。

教師というのは、

「子供たちの人生そのものを変えてしまうことがある」

それほどの影響力をもった存在です。そして、本当にやりがいのある、すばらしい仕事です。

前述のような風評を吹き飛ばし、若い先生にはぜひ力を付けてほしいです。そして、良い先生になっていただきたいです。

2

教師になっただけでは、良い授業はできません。大学の教職課程で学んできたことは、残念ながら、ほとんど何一つ役に立ちません。

授業の腕を上げ、実際に子供たちに力を付け、子供たちや保護者から感謝の声をいただくようになるには、やはりそれ相応の努力・修業の日々が必要です。

第一に「授業で子供たちを熱中させる技能」が必要です。「技能」なので、本を読んでも、YouTubeを見ても、身に付きません。ちょっとした表情、目線、体の動き、発問・指示のタイミング、不規則発言への対応・応答といった、いわば「目に見えない力」の総合力なのです。

これをできるだけ早く、確実に身に付けるためには「ＴＯＳＳ授業技量検定」が最も優れたシステムです。

ＴＯＳＳ授業技量検定では、「教師の技量」の目安が明確に示されています。これまで五千名に近い先生方が認定され、腕を磨いてきました。

これを受検することで腕を上げ、全国的な活躍をしている若手からベテランの先生方に、その良さや効果、受検のコツなどを教えていただきます。

次の四項目です。

1〈入門編〉Ｅ表・Ｆ表　この技能を学んだだけで授業が変わる
2〈初級〉Ｄ表を突破　子供たちが劇的に熱中する授業力
3〈中級〉Ｃ表で必要な力　論理的な単元構成能力を身に付けよう
4〈上級〉Ｂ表・Ａ表とはどのような力なのか

ＴＯＳＳ授業技量検定をまだ受検したことがない方のための「受検ガイドマニュアル」も載せました。

3

「教科の教材研究」や「子供たちの実態」をとらえることも重要です。

教材研究の例として、次の四つのテーマを取り上げました。

(1)国語：分析批評「Ｂ型」で一単元を構成する
(2)算数：「向山型算数以前の向山の算数」から学ぶ知の世界
(3)社会：教科書の「知識分析」が単元計画の出発点
(4)理科：最先端、日本のＳＴＥＡＭ教育を進めるための初めの第一歩

また、実態をとらえるためには「根拠をもって数値的にとらえる」ことがその出発点です。

教師の指導で、子供たちにどんな力が付いたのか。授業前と授業後でどう変化したのか。そういったことが明確にならなければプロの指導とはいえません。

（本誌編集長　谷 和樹）

入門編　E表・F表　この技能を学んだだけで授業が変わる

「授業の導入をどうするか」が、授業の腕を上げる第一歩である

授業最初の作業指示に悩み、自分なりに工夫していく。
子供たちの反応が、その良しあしを教えてくれる。
授業の導入の検討は、楽しい授業、分かる授業を追究していくための「基本のキ」となる。

愛知県名古屋市立宮根小学校　堂前 直人（どうまえ なおと）

「起立、礼、お願いします」
「この間は、～までやったよね」
「今日は、～の勉強をします」
このような入りを何度も目にしたことがある。
この場面における、授業最初の作業指示は、「起立」である。
この指示は、形式的であり、工夫がない。
更に言うならば、この作業指示は、学習に直結しない。つまり、あっても、なくても、同じである。
TOSS授業技量検定では、「授業最初の作業指示」を評価項目に掲げている。

「授業の導入を、子供たちが一気に集中するように工夫しよう」ということを提案しているのである。

では、授業最初の作業指示では、どのようなことを意識すればいいのか。

1　一気に全員を巻き込む。
2　誰でもできることから始める。
3　笑顔でしっかり声を通す。

まずはこのことを意識したい。
もし、音読をさせるのであれば、「まずは音読をします。教科書を出しましょう」のようには行わない。
「全員起立、教科書五ページ、一回読んだら座ります」のように一気に活動させる。
算数のわり算を学習しているのであれば、「3の段、言いましょう。さんはい」のように復習から始める。
こうやって行うと、ついてこられない子が生まれてしまうように思える。
しかし、全体が活動しているので、実際は個別対応に入りやすくなる。
内容はもちろん、声や笑顔も意識するといい。声や表情も、授業に引き込むための重要な要素である。
ほかにも、「どこを向いて言葉を発するか」、「作業させた後、褒めているか」、「短く分かりやすい言葉を使っているか」なども大切である。
たかが授業開始の十五秒程度のことであるが、意識すべき点は山ほどある。
意識して授業の最初を磨くことで、結果として授業全体も磨かれていく。

入門編　E表・F表　この技能を学んだだけで授業が変わる

紙（指導案）を見ないで授業ができる

「紙を見ないで授業ができる」という項目を
毎日意識して授業をしたり、授業の準備をしたり
することで、授業に関する力を総合的に伸ばすことができる。

東京都目黒区立五本木小学校　久野 歩（くの あゆむ）

「紙を見ないで授業ができる」
これはTOSS授業技量検定のF表（35級～39級）項目の一つだ。各地域のセミナーに参加したときに、様々な模擬授業を見る機会がある。その際に指導案を見ながら授業をする先生を、過去一度も見たことがない。
一方、学校ではどうだろうか。研究授業などを見ると、指導案を確認しながら授業をしたり、指導案を挟んだバインダーを持ちながら授業をしたりする先生に出会うことがある。また、指導案とは別に授業の台本を作成し、台本を見ながら台詞どおりに授業を展開しようとする先生もいた。
初任の教師なら微笑ましい光景だが、経験を重ねたベテランの先生であったり、各地域でそれなりに研究授業を重ねている先生であったりもする。
指導案を見ながら授業をすれば、「子供たちの様子を見ることができない」「声が通らない」「リズムやテンポが悪くなる」など、様々な弊害が出てくる。逆に指導案を見ないで授業をすれば、「子供に安心感を与えることができる」「教師に見られているという緊張感を子供にもたせることができる」「子供の表情から様々なことを読み取ることができる」など、様々な教育的価値を生み出すことができる。

では、紙を見ないで授業をするためには、どんなことが必要なのだろうか。
「サークルで模擬授業をする」「授業技量検定を受検する」など、自分に合った方法が必ずあるはずである。
私がお勧めするのは、ふだんからF表項目を意識して授業することである。
初期の段階で三つの項目を一時間の授業で意識するのが難しければ、意識する項目を一つに絞ればいい。また、一時間目は「子供の前で自然に歩ける」、二時間目は「声が自然に出ている」といったように、時間ごとに区切っても構わない。
しかし、どの時間にも共通して意識したいのが「紙を見ないで授業ができる」という項目だ。
実際に行ってみると分かるが、「紙を見ないで授業ができる」というのは難しい技量である。なぜなら、紙を見ないで授業をするには、事前に授業の組み立てを考えたり、発問や指示を具体的にしたりするなど、準備が必要になってくるからである。つまり、「紙を見ないで授業ができる」という項目を毎日意識して授業をしたり、授業の準備をしたりすれば、必然的に授業に関する力を総合的に伸ばすことができるのである。

TOSS授業技量検定で
子供熱中の授業力を付ける

初級　D表を突破　子供たちが劇的に熱中する授業力

子供が熱中するものには原則がある「変化のある繰り返し」

物語でも、曲でも、漫才でも、変化のある繰り返しは、人を引き付ける。
この原則は、授業でも同様である。

神奈川県川崎市立大谷戸小学校　田丸 義明（たまる よしあき）

・「三びきのこぶた」（物語）
・「ボレロ」（曲）
・笑い飯（漫才）
・算数の例題（学習）

これらに共通するものが、

変化のある繰り返し

である。「子供が熱中するもの」の多くには、

変化のある繰り返し

が用いられている。

体育のバスケットボールの授業。五分程度で九つの活動を取り入れることができる。それも飽きさせないで。その秘訣（ひけつ）は、

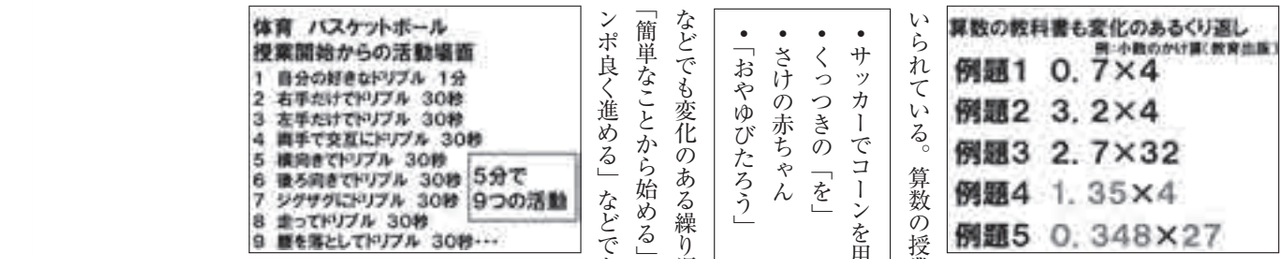
変化のある繰り返し

である。

算数の教科書はどのように構成されているのか。教育出版、5年「小数のかけ算」の例題だけを見てみる。

見事に「変化のある繰り返し」になっている。

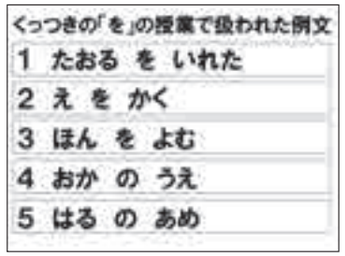
初めは「かけられる数」が変化する。次に、「かける数」が変化する。再度「かけられる数」が変化する。



闇雲に変化のある繰り返しをしているのではない。「既習」の中に少し「未習」を入れている。「少しずつ」変化させている。向山洋一氏の授業でも、多く用いられている。算数の授業ではもちろん、

・サッカーでコーンを用いたボールキック練習
・くっつきの「を」
・さけの赤ちゃん
・「おやゆびたろう」

などでも変化のある繰り返しがある。ポイントは、「簡単なことから始める」「解説は極めて短く」「テンポ良く進める」などである。



TOSS授業技量検定で
子供熱中の授業力を付ける

初級　D表を突破　子供たちが劇的に熱中する授業力

日々の授業が劇的に変わるD表検定

授業開始15秒にこだわると見えてくる世界。

千葉県習志野市立向山小学校　平山 靖（ひらやま やすし）

全員ができる指示だったのか?

D表検定の評価項目である「授業の始まり十五秒のつかみ」について、私は右のようなコメントを受けた。さらに、「教科書を出していない子がいるのに授業を進めていないか?」「本当に全員が教科書のその問題を読めていたのか?」「教室にいるそういう子供たちを確認することなしに普段から授業をしているのではないか?」などのことを審査の先生から指摘された。頭を金づちで殴られたような衝撃だった。それから教室の子供たちを授業中によりしっかりと見るようになった。授業開始の方法を学ぶことは、極めて奥の深いものである。「全員ができる」というのを突き詰めていくと、様々なものが見えてくる。

第一声が教室の端の子に届いていたのか?

これも「十五秒のつかみ」で衝撃を受けたコメントの一つだ。おかげで、〝端の子にまで自分の声のエネルギーを届ける〟というイメージをもって指示をするようになった。そのために、自分の声の出し方にまでこだわるようになった。「教科書九ページ、開きます」という指示を出すとしよう。「開きます」の「ます」にこだわるのだ。これを上げ気味に言う。そうすると音声がよりクリアになる。全員ができる指示であるために必要な条件の一つだ。「声は低くなかったか」というのも重要だ。特に男性は、思っているより声が低い。だからこそ音を少し上げるようにして言うだけで指示の明瞭さは変わる。まだまだある。

笑顔で楽しそうに開始していたのか?

「算数嫌だな」と思う子供に対して、教師が、「これ楽しいんだよ!」と笑顔で、満面の笑みで授業をしていたら、これは面白い勉強なんだと、いい意味で子供は勘違いする。

このように、〝全員ができる〟ということを貫くには、それを支える微細な技術が存在する。それらが当たり前にできるようになるための基準がD表である。まずはD表の項目を意識しながら授業するだけで授業は変わる。そしてそれを忘れるほど練習を重ねていくことで、技術が技能化する。D表検定を突破する頃には、自然にできるようになっているだろう。

TOSS授業技量検定で
子供熱中の授業力を付ける

中級　C表で必要な力　論理的な単元構成能力を身に付けよう

ロジカルな指導案を作成する方法

ただ分厚いだけの「教材研究集」になっている指導案が多すぎる。
分かりやすい指導案にするためには、まず仮説を立て、それを検証するように書く。そうすることで思考が流れる指導案になる。

栃木県真岡市立真岡東小学校　松崎（まつざき） 力（つとむ）

指導案は、単にページ数を稼いだだけの教材研究集であってはならない。ロジカルな展開が必要だ。そのために、教材を研究したら、その内容をまとめ、整理をし、単元として構成する。単元構成においては、本時を支える内容を効果的に配列することで、論理的な単元構成能力が少しずつ身に付く。その方法の一端を紹介する。

1　まずは、仮説を立てる。

授業を行うことで、子供たちを変容させていく。その変容の姿が仮説になる。

例えば、「地域学習を行えば、地域を愛する子供が育ち、将来、地域振興に役立つ人材が育つ」という仮説を立てる。ここが出発点だが、やっている人はほとんどいない。

2　仮説を詳細に分析する。

教材研究は、仮説に書かれた内容を細かく分け、その一つ一つを深く掘り下げていく。仮説以外の余計なものは省く。しかし、セミナーで見る分厚い指導案のほとんどは、いらない情報ばかりを網羅している。

具体的に紹介する。まず「地域学習」を掘り下げる。地域を調べることに限定するのか、調べたことを発信するのか。実際に見学に行くことは可能か、調べ学習で終えるかなどを検証する。

次は、「地域」を掘り下げる。子供たちの生活圏のどの範囲を示すか検証する。学校の周り、自治体、都道府県などを明確にしておく。

「愛する」とは、どういうことかを掘り下げる。この曖昧な言葉を検証する手段は、アンケートにするのか、ふだんの言動を調べて数値化するのかなど、データとして提示できるような方法を検討する。曖昧な言葉を検討しない指導案が、多すぎる。データがなければ、信頼性は乏しい。

さらに、「将来」とはいつ頃のことなのか。成人期や独立期、安定期など、年齢別にどの程度の姿が望ましいのかなどを検証する。

このように、仮説に沿って順に掘り下げていくことで、読み手にも指導案の内容が大変分かりやすくなる。教材研究の羅列は全く読みにくい。

こうした下支えをそろえてから、本時をどこにするのかを決定し、効果的な配列を考える。

C表検定への挑戦で指導案を書くなら、最低でも、この程度のことはクリアしてほしい。本ページで紹介した方法を生かして、即実行してほしい。

TOSS授業技量検定で
子供熱中の授業力を付ける

中級　C表で必要な力　論理的な単元構成能力を身に付けよう

論理的でオリジナルな単元を成立させる基礎研究２つの視点

一つは「時間軸と空間軸」。
一つは「足を運ぶ」。

東京都・日本文化大學 講師　木村（きむら） 重夫（しげお）

1　時間軸と空間軸

授業には「核」となる素材がある。

私の場合は「昆虫」「アフリカ」「親学」「ＡＩ」だった。論理的な単元構成を組み立てるために、素材を徹底的に研究する。奥行きのある単元構成を作るための、土台となる基礎研究だ。

Ｃ表の素材研究では、「縦軸と横軸」を考える。

縦軸は「時間軸」だ。

その素材の過去は？

その素材の最古は？

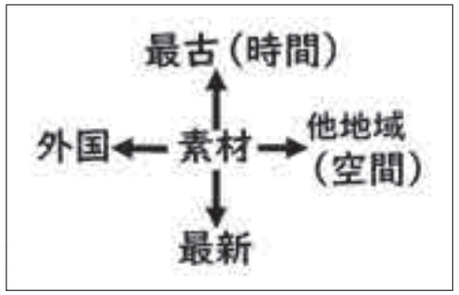
その素材の最新は？

その素材の近未来は？

横軸は「空間軸」だ。

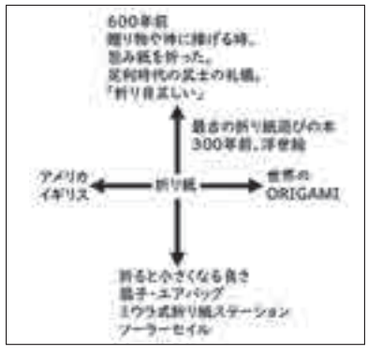
その素材は、他地域では？

その素材は、外国では？



もう随分前だが、新潟県の高野宏子氏はＤ表で「世界に誇る日本の伝統文化・折り紙」の授業をした。「折り紙」について、論理的な単元構成ができた授業だった。

このような視点は、更に上のレベルのＢ表やＡ表の基礎研究でも役立つ。



2　いかに足を運んだか

もう一つは「足を運んだ教材研究」である。「昆虫の授業」を構想し、筑波研究学園都市の昆虫研究室を訪問した。悪玉菌に強い耐性をもつタイワンカブトムシの取材だ。幼虫を譲っていただいた。私はカブトムシを単元の中核に据えた。実物の幼虫を見せると、子供の視線がくぎ付けだった。

論理的でオリジナルな単元は、足を運んだ広範な基礎研究の上に成立する。

TOSS授業技量検定で
子供熱中の授業力を付ける

上級　B表・A表とはどのような力なのか

これからの日本を創るための重要な力

海外視察を重ね、日本の教育は先進各国から何十年も遅れていることを実感した。今までの延長の考え方では、日本の教育はますます遅れていってしまう。AI時代に日本に必要な力こそがA表、B表の力である。

岡山県岡山市立西小学校　小野（おの）隆行（たかゆき）

1　A表項目が示すこれからの日本に必要な力

A表、B表の受検のポイントは、指導案である。

その指導案を文部科学省に持って行って、そのまま提案できる内容ですか？

かつて、私はこのようにコメントした。

A表の最大の特徴は、次の項目にある。

教育界への新鮮で骨太な問題提起　三〇点

まず、今までにない提案というのが前提となる。それが、「教育界への新鮮で」という言葉になる。つまり、それを見付け出す力が必要となる。

これは、読書だけでは難しい。もっとも重要な情報は人がもっているからである。日常的に、一流の情報にふれる環境にいなくてはならない。

私の場合は、それが海外視察や、教材開発会議への参加だった。そのような非日常の中に、身を置き続けなければ到達できない領域である。

また、この項目には、「骨太な」という言葉がある。この言葉が重くのし掛かる。

例えば、提案の根拠は妥当なのかが厳しく問われる。また、科学的な検証がなされているのか。批判的な意見をも検討したのか。そして、その上で、それらが全体構造として組み立てられていなければならない。書かれている一文一文の価値と整合性が問われるのは言うまでもない。

かつて、授業技量検定の創成期には、この項目は二〇点だった。それが三〇点に変更になった。まさに、このことがA表に必要な力を表している。

2　B表は最新情報を組み立てる力

B表項目は、「教材研究の新しさ　二〇点」「単元構造をふまえた授業の組み立ての深さ　二〇点」の二つの項目が特徴である。これらは、ちょうどA表の項目と対応するようになっている。

ポイントは「新しさ」「組み立ての深さ」である。最新の情報にアクセスし、それを深い組み立てで授業化する力が求められる。

このように、A表、B表は、これまでの教育界には足りなかったことを新しく創り上げていく力を求めているのである。

AI時代を迎え、今までの延長というスタンスでは諸外国とは、大きな差が付いてしまう。そのことを海外視察で痛感した。A表、B表は、これからの日本に最も必要な力だと考えている。

TOSS授業技量検定で
子供熱中の授業力を付ける

TOSS授業技量検定　受検ガイドマニュアル

授業技量検定初受検は「誰でも・どこでも」可能

「検定を受けたことはありませんが、自称剣道名人です」と公的な場で発言したら笑われる。剣道に腕を客観的に測定する検定試験があるように、授業にも実は「検定」がある。
子供のために、TOSS授業技量検定に挑戦してみたらいかがだろうか？

東京都立八王子東高等学校　鈴木（すずき）良幸（よしゆき）

誰でも・どこでも受検できる

授業技量検定「初受検」に規程はない。
誰でも「初受検」できる。

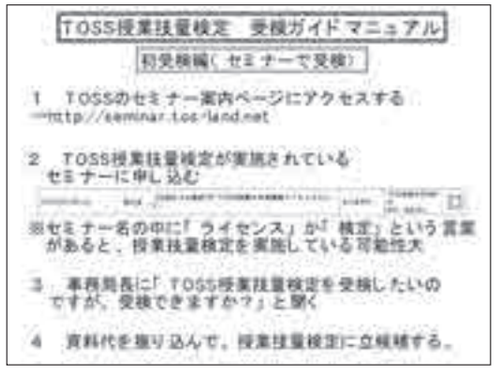
初受検に際し、「サークルに参加していないと駄目」とか「TOSSセミナーに●回参加しないと駄目」のような規程はない（級が上がれば、そういう規程は出てくる）。誰でも「初受検」は可能だ。

では、どうすれば「初受検」できるのだろうか？大まかにいえば「二つの方法」がある。

一つ目は「サークルで受検する」方法だ。

全国には多数のTOSS（法則化）サークルがある。近くのサークルを探し、連絡していただきたい。

もう一つは「セミナーで受検する」方法だ。資料代を払えば立候補可能である。



しかし、ぜひ検定前にサークルに所属し、授業を検討してもらってほしい。この過程で自分の授業力向上が実感できるはずだ。

> 教師の授業力が向上するからこそ、子供に力を付けることができる。
> 教師が緊張場面で挑戦するからこそ、子供も緊張場面で挑戦するようになる。

授業技量検定は北海道から沖縄まで、全国どこでも受検可能だ。

詳しい情報は、授業技量検定公式ウェブサイト（https://www.toss-kentei.jp）をご覧いただきたい。

国語　分析批評「B型」で一単元を構成する

分析批評Ｂ型は、作品全体を分析する

要約は説明文だけではない。
物語文の要約にも子供たちは熱中する。
第一キーワードの論争は、そのまま中心人物・主題の論争へつながる。

山口県下関市立小月小学校　林 健広（はやし たけひろ）

「大造じいさんとガン」。事件三の要約。

子供たちの要約は、二つに分かれた。

第一キーワードが、「大造じいさん」「残雪」。

今までの私なら、「中心人物は大造じいさんです」と即答していた。中心人物とは「物語の中で考え方が変化した登場人物」と私は定義していた。

しかし、「変容人物が中心人物」という定義だけではない。

①中心人物は主題の捉え方で変わる。

偶然その日に、「中心人物」について調べたばかりだった。向山洋一氏の校内研究会の指導案（『飛翔期　向山洋一実物資料集2巻』向山洋一著　明治図書　五六ページ）。

> 中心人物を誰とするかは、むろん主題のとらえ方で変わってくる。

となると、事件三の第一キーワードは、どちらでもあり得る。

黒板に要約文が並ぶ。発表させる。しばらくすると、Aさんが、「残雪派と大造じいさん派で分かれています。みんなはどちらの意見ですか?」と討論にもっていっていた。私は教室の隅で黙っていた。大造じいさんが十六人。残雪が六人。

②おとりのガンを呼んだのは、優しさか?

途中で、びっくりする意見も出た。残雪派が「大造じいさんは見ていただけだ」と主張する。

しかし、大造じいさん派が返す。

「口笛を吹いて、おとりのガンを呼んでいるでしょう。ガンに対しての優しさ、という変化がここで起こってるんです」

「違いますよ。あれは、あのガンが殺されると、残雪を撃てないからです。せっかく何年もかけて捕まえたおとりのガンをハヤブサに殺されたくないからです。残雪をまた別のときに撃つために、おとりを呼んだのです」

第一キーワードを検討させることで、「おとりのガンを大造じいさんが呼んだのは、優しさからか、どうか」の討論が生まれた。

一単元の構成は、デジタル・トークラインの子供のノートをご覧いただきたい。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

算数　「向山型算数以前の向山の算数」から学ぶ知の世界

「長さくらべ」から学んだ教材研究をする際に大切なこと

授業で出された様々な考えを生かすことで、授業に深みが生まれる。
そのためには、子供の考えを理解できるようにしておくことが大切である。

石川県金沢市立長田町小学校　岩田 史朗（いわた しろう）

1　教材研究をする際に大切なこと

教材研究をする際に大切なことは、次である。

> 子供の考えを理解できるようにしておく。

授業では、様々な考えが出される。様々な考えの背景には、それぞれの理由がある。その理由を理解することで、様々な考えを授業で生かすことができる。このことを教えてくれたのが、『教え方のプロ・向山洋一全集㉔「向山型算数」以前の向山の算数』（向山洋一著　明治図書）に紹介されている「長さくらべ」の実践記録である。

2　子供の考えを理解するための方法

向山洋一氏は、子供たちに動かせない二本の棒の長さの比べ方について考えさせている。子供たちからは、五通りの考えが出されている。その中に大竹案がある。大竹案は、「見て、大体で決める」という考えである。自分だったら、この考えを聞いたとき、「比べる方法を考えているのだから、この考えはおかしい」と思ってしまう。もちろん、「おかしい」と口には出さないだろうが、表情などには出てしまうはずだ。

しかし、向山氏は違う。大竹案を、次のように理解するのだ。

> （2）は日常生活の中で多く使われる「目分量」

向山氏は、大竹案を聞いたとき、「これは、毎日の生活の中で、一番多く使われている方法だ。すばらしい」と褒めたはずである。

では、なぜ向山氏は、このような理解ができたのだろうか。実践記録の中に、次の一文がある。

> ここには「はかる」という方法の全てが出ているのだ。

このような理解は、「はかる」という方法の全てを向山氏が知っていたからできたのである。

ほかにも、間違いを想定しておくことで、子供の考えを理解することもできる。

「はかる」という方法

①目分量による比較
②直接比較
③間接比較
④任意単位
⑤普遍単位

社会　教科書の「知識分析」が単元計画の出発点

社会　教科書の「知識分析」が単元計画の出発点

まずは「記述的知識」と「概念的知識」を意識するところから始めよう。
雪小モデル「写真読取」も「記述的知識」からコードを増やすことで
「概念的知識」へと広がり、それがそのまま「社会的な見方・考え方」となる。

兵庫県丹波篠山市立味間小学校　川原（かわはら） 雅樹（まさき）

岩田一彦氏によると、社会科の知識は大きく次の五つに分かれる。

①記述的知識（断片的な一つ一つの知識）
②分析的知識（原因と結果ではない事象間の関係。Howで問われる）
③概念的知識（その単元で習得させたい社会事象の原因と結果の法則性）
④説明的知識（概念的知識＋具体的事象）
⑤規範的知識（価値を問う際の判断材料となる知識）

全て理解するのが難しいときは「記述的知識」と「概念的知識」をまず意識するといい。

その単元の言わば具体的な物知り的知識が「**記述的知識**」であり、もっと大きな社会事象の原因と結果の法則が「**概念的知識**」である。

例えば「日本の工業」なら多くの教科書で「自動車工業」を扱う。「自動車工場は部品工場と組み立て工場に分かれている」のような一つ一つの知識が「記述的知識」であり、「幾つかの工場に分かれているのは、効率良く製品を作るためである」とほかの工業製品にも一般化できるのが「概念的知識」である。

もちろん社会科の目標は「概念的知識」の獲得だが、一つ一つの「記述的知識」が積み重ならないと「概念的知識」は出来上がらない。子供は**ある具体的な教材から「記述的知識」を得て、それが「概念的知識」につながるのである。**

教科書の資料の種類は大まかに次の五つだ。

(1)文章　(2)写真・イラスト　(3)統計　(4)地図　(5)年表

一番たくさん使われている「写真・イラスト」には文字でない「記述的知識」が詰まっている。雪小モデルの「～がある」が「記述的知識」であり、「時間」「空間」「比較」などのコードを身に付けさせていくと「概念的知識」となる。例えば「火事の写真だ」→「～があるから冬だ」→「暖房を使うから冬は火事が多い」のような感じだ。

このコードが社会的な見方・考え方ともなる。

理科　最先端、日本のSTEAM教育を進めるための初めの第一歩

「マイクロビット」を活用したSTEAM教育※の可能性

理科の授業には「物」が欠かせない。
コンピュータとマイクロビットを使ってSTEAM教育を始めよう。

兵庫県姫路市立英賀保小学校　許（ほ） 鍾萬（じょんまん）

マイクロビット（microbit）は教育用に開発されたコンピュータボードだ。

かわいらしいカバーや外形は付いていない。いわば「基盤」そのものが、むき出しになっている教材である。

海外のSTEAM教育では、「本物に触れさせる」ことを重視している。

ミニカーはあくまでもミニカーであり、幾らミニカーを改造したとしても、本物の車を改造することはできない。将来、車をつくる仕事に就きたい子には、できるだけ早い段階で、本物の車を分解したり組み立てたりする体験をさせた方がいい。

STEAM教育にも同じことが言える。

どうしても「実体験」を伴わなければ、学習した内容と現実社会がかけ離れたものになってしまう。

導入段階としては、「アンプラグド（コンピュータを使わない）」の授業がいい。

教科書とノートを使って、基盤となる学力をしっかりと身に付ける。

その次の段階として「プラグド（コンピュータを使う）」の授業がいい。

実験や観察を通して学んだことを、コンピュータの画面上で表現してみる。センサーやスイッチで動くものをプログラムしてみるという学習だ。「数値や順番が変われば結果も変わる」ということを体験する。

「スクラッチ」に代表されるような「ビジュアルプログラミングサイト」を使えば手軽にできる。

そして、最終的には「現実世界のものを動かせた」という体験が必要になる。

マイクロビットを使えば手軽に体験できる。

マイクロビットには、あらかじめ「センサー」が搭載されている。

1　地磁気センサー
2　温度センサー
3　明るさセンサー
4　加速度センサー

本体は二千円程度で購入できる。

これらのセンサーをうまく組み合わせて、自分の思いどおりにマイクロビットを動かしていく体験に、子供たちは熱中する。

身近にある便利なものの「見え方」が変わる。

※ Science, Technology, Engineering, Art, Mathematicsの頭文字で、科学技術・工学・芸術・数学分野の教育を指す。

子供の事実から出発する

子供たちの実態を根拠をもって数値的に捉える～国語編～

吉永順一氏の先行研究を指標として考える

海浦小学校の必達目標は、
自分の学校と比較するための指標として最適である。

大阪府池田市立秦野小学校　原田 朋哉（はらだ ともや）

印象論や好みで語るのではなく、子供の事実で語る。そのためには、子供の実態を根拠をもって数値的に捉える必要がある。

子供の実態を数値的に捉える先行研究として、吉永順一校長の熊本県田浦町立海浦小学校の必達目標が一つの指標となる。

私が今担任している児童の力と、海浦小学校の必達目標と照らし合わせてみた。

〈海浦小必達目標〉

①教科書の文章が一分間に三百六十字以上読める。
②新出漢字（百八十一字）の九割（百六十三字）以上正確に読める。
③新出漢字（百八十一字）の八割（百四十五字）以上正確に書ける。
④十分間に文章が三百字以上正確に書き写せる。
⑤俳句や短歌、詩などを三十以上暗唱できる。
⑥単元テストで九十点以上とれる。

（『TOSS流で学校をつくり変える　必達目標で学力保証のシステムをつくろう』吉永順一著　明治図書　一九ページ）

① これは初見であるかどうかによっても違うが、既習の文章として捉えた。ストップウォッチを片手に子供たちに合図をし、何行読んだかで計算させる。挙手させるとすぐに確認できる。三十二人学級中、クリアできた児童は、二十七人だった。クリアできなかった児童には、指で押さえながら一緒に読んだり、追い読みをしたりして全体の指導と個別の指導とを継続していく。

② 読みがなのみのまとめテストをした。こちらは、平均が九四点だったので、クリアしていた。

③ 漢字まとめテスト、平均が七九点だった。ゆび書きを更に徹底させる。漢字文化の授業を取り入れ、エピソードからも入れていく。

④「うつしまるくん」（光村教育図書）などの視写教材で実施し、マスに入っていた文字だけ計算させる。マスに書かせると文字数の計算もしやすいし、評定もしやすい。

我がクラスは、平均二百四十字だった。視写の力が弱いことが分かった。連絡帳の視写や聴写なども入れながら、目からの情報でも耳からの情報でも対応できるように指導していく。

⑤ 十月の段階で、まだ平均十六。まだ少ない。

⑥ 正進社のテストということもあるが、九六点。毎回の直しもその場でさせ、更なる定着も図っていく。まずは、このような比較するための指標をもっておくことが出発点になる。

子供の事実から出発する

子供たちの実態を根拠をもって数値的に捉える～算数編～

「計算ドリル」をびりびりと破り捨てたA君

初めて特別支援学級（6人の自閉症・情緒学級）を担任したときのことだ。
全員分の「計算ドリル」が届き、一人一人に手渡していた。
そして、最後の男の子に手渡そうとしたとき、事件は起こった。
手渡した「ドリル」を彼は床にたたき落としたのだ。私が拾おうとすると、
大声で泣き叫び、「計算ドリル」をびりびりと破り、何度も踏み付けた。

長崎県公立小学校　岩永 将大（いわなが しょうだい）

1　WISC―Ⅳの数値から実態を捉える

「計算ドリル」を破り捨てたA君は、自閉スペクトラム症と診断されていた。WISC―Ⅳの数値※1は以下のとおりだ※2。（平均値は100）

FSIQ（66）
VCI（63）……言葉を理解し推論する力
PRI（94）……目で見た情報を処理する力
WMI（67）……聞いた情報を一時的に置いておく力
PSI（60）……単純なことをすばやくこなす力

この数値から私は、以下の分析をした。

①ワーキングメモリが小さいため、教師の指示や説明の記憶の保持が難しい。

②知覚推理は平均値のため、視覚情報が入る。

③処理速度が遅いため作業が遅い。特に授業中は視写や板書に時間が掛かる。

④語彙数が少ないため、難しい言葉を簡単な言葉に置き換えて伝える必要がある。

2　数値や日常から実態を把握し、支援を考える

特に困難を示した二つに特化して支援を行った。

聴覚情報だけの指示が苦手

デジタル教科書など、視覚的支援を行った。大事な言葉は繰り返し言うことで脳にインプットさせた。指示を減らし作業の時間を確保した。

作業速度が遅い

問題数を減らしたり、赤鉛筆で書いた文字をなぞらせたりすることで、解くことや書くことへの抵抗を少なくした。個人のペースを尊重し、急かさないようにした。

「算数の学習になると席にも着かない」と引継ぎを受けたが、チャイム前には席に着き教科書を読むようになった。テストでは一〇〇点を連発し、本人も成長を感じていた。数か月後、信頼関係が築けてきたので、気になっていたことを聞いてみた。

3　なぜ、「計算ドリル」を破り捨てたのか

彼は二つの原因で計算ドリルが嫌になっていた。

(1)問題数が多すぎることに腹が立つ

処理速度が遅いのだ。当たり前である。分かっているのに時間が足りない。肯定感も下がる。

(2)書き込めないことに腹が立つ

「ドリル」とノートの視点移動だけで疲れる。問題を書き写すのにも時間が掛かる。急いでも間に合わないからいつも宿題になっていたそうだ。

※1 全検査IQ（FSIQ）、言語理解（VCI）、知覚推理（PRI）、ワーキングメモリ（WMI）、処理速度（PSI）。
※2 個人情報のため全ての数値を少し変えている。

特別連載

新時代の学校物語 22

新学習指導要領実施の年

敬愛大学国際学部教授
全国連合小学校長会顧問
向山行雄（むこうやまゆきお）

一 新年恒例行事

二〇二〇年の幕開け。数字を四で割れる西暦は、オリンピックとうるう年、米国大統領選挙。今年も、内外ともに話題の多い年になりそうだ。

毎年の元朝、近くの大橋へ、妻と初日の出を拝みに出掛ける。家内安全と学校の安全を祈る。厳寒の清祥の空気の中に身を置くと、心身ともに疵（きず）が濾（ろ）過（か）される。

初風呂の後、ぬる燗（かん）の屠蘇（とそ）で、好物の田作りや黒豆を食す。三合ほど呑（の）んでから、とり肉と小松菜の雑煮で一息ついて、朝刊に目を通す。

その頃、年賀状が届く。昼食後に近所の氏神様へ。四十分ほど待って初詣。ここでも家内安全と学校安全を祈る。ひと眠りして、夕食でも好物のくわいやハゼの甘露煮、なますなどでぬる燗をいただく。

そして翌日は、朝からきびきびと働く。長女、次女一家がやってきて、にぎわいの中で新年の宴を行う。

毎年、同じことの繰り返し。毎年、同じ物を食べ、同じことをして正月を過ごす。年を取ると、この毎年の恒例行事が誠に喜ばしく感じられる。

いつまで健康で、好物の酒とつまみを食べられるか。古人が「正月は冥土の旅の一里塚」と詠んだ戯れ歌が身に染みるようになる。

二 閑話休題「向山行雄の連載」

話は変わるが、二〇一九年二月から、日本教育新聞社の『週刊教育資料』という雑誌で連載をしている。タイトルは「向山行雄の『ドキュメント学校経営』」。学校で起こる様々な出来事を、物語風に述べている。

舞台となるA小学校では、「担任を替えてほしい」「給食指導が厳しすぎる」「運動会の徒競走着順判定がおかしい」「展覧会の作品がひどい」「同学年同士のできちゃった婚」など、様々な問題が生じる。

それを経験の浅いB校長、そそっかしいE教頭などが、必死で対応する。

おまけに、同窓会の内紛、PTA内の不穏な動きなどもあり、学校は振り回される。

この連載を始めるにあたって、各学校の幾つもの事例を基にした。そして固有名詞が特定されないように、配慮しながら筆を進めている。

これまでとは異なる手法のこの連載、

自分で言うのも気が引けるが、なかなか評判がいい。管理職が主対象の雑誌だが、もしどこかで見掛けたら、目を通されるのもいい。

三 新学習指導要領の準備

さて、今年の三学期は、いよいよ始まる新学習指導要領の準備期間。ここまでの準備状況は、自治体や各学校で差がある。準備が不十分だと、後で泣くことになる。遅れがちな学校は、今からでも取り返してほしいと願う。

実は前述した連載のA小学校も、新学習指導要領への準備が遅れていた。それを、教務主任の恩師であるR教職大学院教授の指導で何とか間に合わせた。短期決戦で、教員研修を行い、通知表改訂のマネジメントを行った。そのような原稿を書いた。

新しい通知表の納品は、ぎりぎり今年の六月下旬。あと五か月しかない。三月中には最終案を作成する。それを新年度の組織で最終確認をして、五月中旬に印刷業者への発注。数回の校正を経て、担任が余裕をもって新通知表の作業が着手できるように、六月の遅くない時期に納品できるようにしたい。余裕が事故を未然に防ぐ。

このような工程表で仕事を進めると、一月中には各学年に各教科ごとの観点を完成。二月中には、各教科ごとに学年の系統や教科間の差についての調整作業が必要だ。それをまとめて、完成版を三月中に作成する。

四 通知表改訂の仕上げ

これが常識的な、通知表改訂作業の工程表である。しかし、この「常識的な」作業日程が組めない学校がある。

過日訪問した学校は、旧指導要録の行動の記録がそのまま通知表に使われていた。通知表改訂時期の〈怠惰〉が、数代の管理職や教務主任交代を経てもノーチェックのまま放置されていた。

その学校に通う子供や保護者は、そのまま旧式の評価観点を享受したことになる。

改訂時の校長、副校長の氏名を確認すると、知っている名前だった。とかく、個性的な物言いをする割に、マネジメントの弱い人だった。

改訂時、私は全国連合小学校長会の会長であり、東京都の小学校長会長。新学習指導要領への各分野での準備について、相当に心血を注いできたつもりであった。

しかし、お膝元の東京都内でそのような通知表を作ってしまった。徹底できなかった責任の一端は、会長だった私にもある。忸怩（じくじ）たる思いである。

学習指導要領改訂は十年に一度。通知表の改訂も同様だ。めったに経験できない仕事だけに、事故も起こりやすい。

教員の超過勤務が依然として続く。学習評価に関する業務は自宅に持ち帰れない。それが、一層教師を多忙にさせる。若手教員の増大、評価観点の大きな変更、新学習指導要領の難解さ。前回に比べて懸念事項は多数存在する。

全国の学校で、円滑に新学習指導要領が実施され、国民の信託が得られるよう、改めて新年に祈念する。

SDGsの授業プラン（その5）

授業で子供たちにデータを提示するなら、一つの資料だけでは心もとない。できるだけ複数のデータに当たる。様々に検討する。それでもまだ不十分だろう。そのことを自覚しながら授業をつくる。

本誌編集長
谷 和樹（たに かずき）

1 各種発電の危険性を示すデータ

前号で次のデータを示した。

発電量（TWh＝テラワットアワー）あたりの死者数※1

インターネットで検索したものだ。出典も書いてある。怪しい資料ではない。

しかし、この一つの資料だけで何かを語るのは安易だろう。子供たちに授業するのだ。

下支えするデータ

それが複数欲しい。

たとえ授業で提示しないとしても、できる限りデータを集め、検討する。

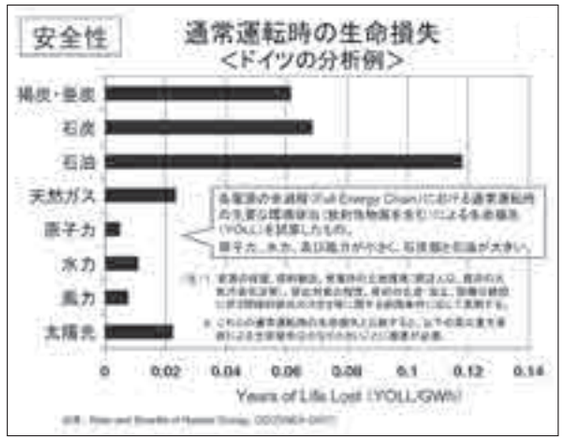
教材研究の基本姿勢である。

ここでは、関連データをあと三つ紹介する。

①通常運転時の生命損失

ドイツの分析例だ。それぞれの電源から環境に放出される物質の危険度を示したものだ。

生命損失は「原子力、水力、及び風力が小さく、石炭類と石油が大きい」とされている。



普通に発電しているだけ

それだけで、これほどのリスクがあるということだ。

②重大事故による生命損失

次は「重大事故による生命損失」である。原子力発電の重大事故が圧倒的に危ないというイメージがある。

しかし、データはそれとは違った事実を示している。

③5人以上の死者を出した重大事故

中国の事故では、水力で三万人も亡くなっている。また、放射線による「晩発性の死亡」については別途検討がいる。

示したデータは、いずれも日本原子力研究開発機構の経営企画部戦略調査室の平成一九年のものである※2。

その後、福島の原発事故が起こった。よって、数値は若干変化するだろう。

しかし、これらには「チェルノブイリ」が含まれていることを考えると、少なくとも大まかな傾向を読み取ることは可能だ。

2 授業で使うデータの吟味

ここまで、できるだけ多くのデータを集め、できるだけ客観的・科学的に判断することを述べてきた。

百のデータを集めたら九十は捨てるようなイメージである。

少し固い話が続いたかもしれない。

次号からは、違った切り口でのSDGsの授業づくりを紹介する予定。

※1 発電方法別の発電量当たり死者数の比較（https://toegetter.com/li/323361）のデータから、谷が作成。

※2 原子力発電の特性について―他電源との比較―（http://www.aec.go.jp/jicst/NC/senmon/vision/siryo/vision02/siryo2.pdf）

言葉の限界が仕事の限界である

言葉はものごとを認識する枠組みである。言葉があるからものごとが説明できるし、見えてくる。その意味で言葉の限界がその人の現実であるし、仕事の限界でもある。結果として、教育の形は違ったものとなる。

TOSS熊本　吉永（よしなが）順一（じゅんいち）

向山論文

目標は一通りある。努力目標（方向目標）と到達目標だ。

日本の学校は、実際はほとんどがすべて努力目標だ。「やるように努力しましょう」ということであり、その結果がきびしく問われることはない。

二十年前、おそらく「学校としての公約」として「基礎学力の保証を教育課程に明記する」ことを職員会議で討論したのは、調布大塚小学校だけだっただろう。その後も（最近までは）皆無に近かったと思う。「基礎学力を学校として保証する」ことは一人一人の教師に、それほど大問題なのだ。

しかし、吉永校長率いる熊本県田浦町海浦小学校では、そのことを教育課程に入れ、公開したのだ。もちろん「保証する」となっている。そして、「到達目標」ではなく「必達目標」となっている。

もちろん、日本で初めてのことだ。必達目標は、具体的でしかもレベルが高い。数値目標できちんと示してある。

例えば「六年国語」の「必達目標」は、次の通りである。

①教科書の文章を1分間に360字以上読むことができる。
②新出漢字（181字）を9割（163字）以上正確に読むことができる。
③新出漢字（181字）を8割（145字）以上正確に書くことができる。
④10分間に文章を350字以上正確に書き写すことができる。
⑤俳句や短歌、詩などを30以上暗唱することができる。
⑥単元テストで9割以上とることができる。

何度もいうが、ただの「目標」ではない。保護者に「保証します」と言い切った「必達目標」なのだ。目標を達成するためには、目標があればいいのではない。それを達成するための基本方針と具体方針が必要だ。海浦小学校にはもちろんある。その一部を紹介しよう。

★学力向上の基本方針
①必達目標の公開
②「単元通知表」による指導と評価の一体化
③力をつける学習システムの導入（向山型国語、向山型算数の導入、TOSS開発の教材使用）
④授業力を高める研修システムの確立

この項目の一つ一つが、注目すべき内容である。「力をつける学習システムの導入」とある。海浦小学校及び吉永校長は、私たちの努力の結晶をとり入れて下さった。次の三つをとり入れる、とある。

一、向山型国語
二、向山型算数
三、TOSS開発の教材

感無量！

ついに、こうした学校も誕生したのだ。斎藤喜博が島小の実践を終えて四十年。ついに、日本の教育界は、すぐれた校長のもとで、歴史に残る実践を創り出したのである。

今回の学習指導要領は、学力の保証をメインテーマにしている。到達度評価の導入は、学校教育法に定められた「各学年の修了」を実質化するねらいを持っている。

学校教育は履修システムをとり入れたのであったが、習得システムをとり入れたのである。従って、すべての担任は「基礎学力」を保証したかどうか、それはいかなる根拠に基づくのか、どのような指導をして、いかなる変化が生まれたのかを具体的に説明できなくてはならない。

それが学校に課せられたアカウンタビリティ（実行責任、説明責任）の中心である。アカウンタビリティは、専門家を納得させられる内容を求められるのだ。

（『教室ツーウェイ』誌　二〇〇二年十一月号　明治図書「学校の履修システムに習得システムをとり入れる」）
※吉永により中略等あり。

実践に必要な知見は全て向山論文に学んだ。大きくくくると三つに整理できる。

1　方向性
2　概念
3　組み立て

以下、本論文に即して具体化したい。

1　方向性

改革は中央教育審議会の提言に端を発する。さらに識者による作業部会において検討され、具体化していく。ただその過程で、検討されたテーマ、理念が変質していくことがある。教委や現場の教師がねらいを的確に把握していないと、理念は骨抜きとなってしまう。

向山洋一氏は到達度評価の導入に言及し、そのことが「各学年の修了」を実質化するねらいをもっていることを示唆した。学校が履修制度から習得制度へ転換していく方向の確認である。

2　概念

中央教育審議会で、今後の地方教育行政のあり方について「説明責任」の必要性が強調された。この概念は、説明責任だけではなく、実行責任、結果責任を伴う。向山氏は、少なくとも以下のことが生じると言う。

①学校は勉強するところであるという定義の確認。
②学校は基礎学力を保障する所である、という文書の挿入。
③基礎学力の保障に対して、アカウンタビリティ（説明責任、実行責任、結果責任）を持つという法律上の制約。

（『教育トークライン』誌　No.222　七四ページより要約）

3　組み立て

上記のことを踏まえて学校はどうあるべきか。学校としての総合的なシステムの構築が必要となる。学力保障のためには、授業を小さく改善しても駄目である。大きな枠で考えなければならない。「基礎学力保障のシステム」を作る必要がある。「授業」と「評価」と「研修」が、一体となったものとして作用しなければならない。

システムの差が学力の差なのだ。

（『言語技術教育』　日本言語技術教育学会編　明治図書）

子供の情報活用術

TOSSノート、TOSSメモ、ジャンボ ホワイト・TOSSノートを使ったプログラミング的思考法

「TOSSメモ」で中心人物を分析する

不思議な世界に入る前後の「二人のしんし」について分析させる。

島根県邑南町立高原小学校　太田 政男（おおた まさお）

東京書籍・国語
5年・p.112-131

1　分析の基本型を教える

五年・国語「注文の多い料理店」の授業である。不思議な世界に入る前と後の「二人のしんし」像を分析させた。

まずは辞書を引かせた。「紳士」とは「上品で礼儀正しい男の人」とあった。

「この『二人のしんし』は『上品で礼儀正しい男の人』でしたか？」

「違います」

発問1　では、前半の「しんし」はどんな「しんし」だと言えますか。ノートに書きなさい。

検討した結果、「自己中心的なしんし」「強がりなしんし」という二つが残った。

発問2　どの言葉から分かりますか。一一二～一一三ページから証拠を見付けて線を引きなさい。

この作業は意外と難しい。文章とのつながりを見付けられない子もいる。そこで、教師の評価を短く挟むことにした。

見付けた箇所を発表させ、「いいね！」「いいところ見付けた！」「おしい！」など次々と評価していった。この評価が入るだけで楽しい活動になる。

指示1　見付けた証拠を「TOSSメモ」に写します。

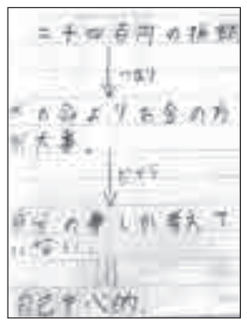
ホワイトボードに書きながら進めた。

指示2　その下に矢印を描いて、どんなことが考えられるか書きます。

説明だけでは分からない。実際にやって見せた。そして、子供たちに「TOSSメモ」を渡し、写させた（左図）。

「目標は四枚です。始め」

やり方が分かれば一人で進められる。自主学習化することができた。



2　分析を細分化できる「TOSSメモ」

後半も分析させた。ステップは同じだ。

①教科書に線を引く。【抽出】
②「TOSSメモ」で分析する。【分析】

前半の分析は白の「TOSSメモ」に書かせ、後半はピンクに書かせた。

なぜ「TOSSメモ」を使うのか。

それは、作業を「細分化」できるからだ。分析というと大変に感じるが、

「『TOSSメモ』を四枚書けばOK」

「まずは一枚だけ書いてごらん」

と言われれば、できそうな気がする。

しかも、一枚できればあとは「同じ作業の繰り返し」だ。だから全員ができる。

この後、「しんしは前と後で変わったと言えるか」というテーマで討論をした。

3「TOSSメモ」を使ったノートまとめ

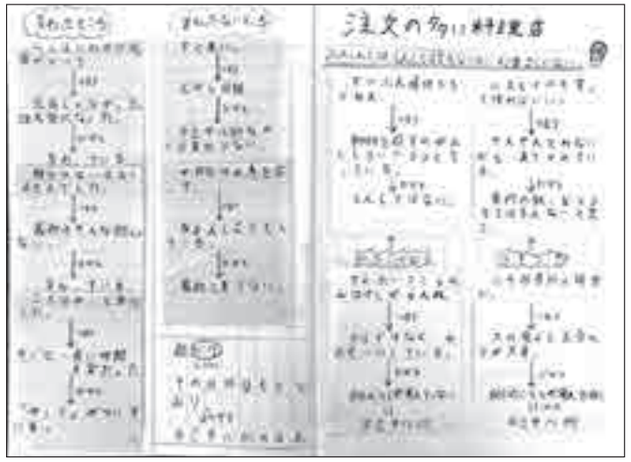
最後は見開き二ページにまとめさせる。

③つなげる・まとめる。【統合】

「『二人のしんし』について見開き二ページにまとめなさい」

見開き二ページはほぼ「TOSSメモ」で埋まっているので、少し書き足すだけでよい。子供たちは「TOSSメモ」を並び替えたり、文字を書き加えたりし始めた。

「どうすればいいか分からない人は、おいで。幾らでも教えますよ」



その子たちには次のようなアドバイスをした。

(1)似ている「TOSSメモ」を集める。
(2)「紳士」の意味を書く。
(3)矢印を描く。
(4)どんな「しんし」か一言でまとめる。

(5)前と後を対比させる。

一人の子にこれら全部のアドバイスを言うわけではない。子供たちの持って来たノートを見ながら、一つずつアドバイスした。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

クラス全員が熱中するこの教材！

定番教材「五色百人一首」（東京教育技術研究所）

短時間で、クラスを変え、子供を変える魔法の教材。

神奈川県横浜市立美しが丘西小学校　水本 和希（みずもと かずき）

「五色百人一首」は、百人一首を二十枚ずつ五色に色分けしている。二十枚なので、一試合三～五分ほどの時間でできる。向山洋一氏が開発した、クラスを熱中させる魔法の教材である。

「五色百人一首」はクラスを変える。

教師が一枚札を読む。一つのルールを伝える。シーンとした空気の中で、ルールを教えるという場面が生まれる。また一枚札を読む。新たなルールを一つ伝える。幾つものルールを守ることによって試合が成立する。クラスにルールを守る大切さが浸透することで、落ち着きのあるクラスに変わる。

「五色百人一首」は子供を変える。

勝ち負けにこだわり、負けるとキレてしまう子がいる。初めのうちは、負けを受け入れられない。しかし、試合を重ねていくと、負けることへの耐性が付いていく。結果、子供が負けを受け入れられるようになる。「五色百人一首」を通じて、一人一人の子供が変わるのである。

クラスでの五色百人一首の様子

県大会の五色百人一首の様子

トークライン読者限定お得情報!!
くわしくは、下をご覧ください。

◆このページの教材は**東京教育技術研究所**でお申し込みいただけます。

『教育トークライン』＆東京教育技術研究所タイアップ企画！

TOSSオリジナル教材ウェブサイトの「タイアップ企画」からご注文ください。関連商品のプレゼントなど、様々な特典をご用意しております。1、2、3月号でご紹介する商品は、下記の3か月間ずっとご注文いただけます。
早めの準備をしたい方や、短い期間では忙しくてつい買いそびれてしまう方にも安心してお買い求めいただけます。
『教育トークライン』誌とともに、"クラス全員が熱中する教材"もぜひご利用ください。

【お申込み方法】
各商品の下に記載されているパスワードを、TOSSオリジナル教材ウェブサイトのタイアップ商品ページにある限定コードの枠に半角英数字でご入力ください。
※パスワードには有効期間がございますので、ご注意ください。

1月号で紹介！
五色百人一首
スタートキット　2,000円（税込）
取り札　1,000円（税込）
読み札　1,000円（税込）
1回のご注文につき「五色百人一首きんちゃく袋」をプレゼント！　パスワード：ebmxi2

2月号で紹介！
五色百人一首読み上げCD　3,000円（税込）
1回のご注文につき「五色百人一首下敷き」をプレゼント！　パスワード：bh3q9q

3月号で紹介！
語呂合わせで、完全マスター！
五色百人一首
4巻セット　7,040円（税込）
各巻　1,760円（税込）
1回のご注文につき「五色百人一首シール（非売品）」をプレゼント！　パスワード：mmj429

TOSSオリジナル教材
https://www.tiotoss.jp/

期間：2019年12月15日～2020年3月14日

※消費増税などの影響で、期間中に値上げする可能性がございます。何とぞ、ご承知おきください。

TOSS教材のお問合わせ、お申込みは
東京教育技術研究所　0120-00-6564

クラス全員が熱中するこの教材！

主体的な学びにつながる「都道府県フラッシュカード」（正進社）

楽しく学習するから、子供は家でも学習してくる。

群馬県桐生市立新里中央小学校　田中 健太（たなか けんた）

フラッシュカードのユースウェアどおり「二回、一回、子供だけ」の順で行っている。毎時間、授業の開始を「都道府県フラッシュカード」から始めることで、授業が安定して始められる。

フラッシュカードを用いることで、都道府県名を覚えることができる。

しかし、都道府県名と位置を一致させることが課題だった。そこでA君の絵描き歌が課題突破の風穴を開けてくれた。

「骨を一本描きまして、社会の窓を描いたなら、大橋一本付け足して、ここに住むとお徳」

四年生が考えた四国地方の絵描き歌である。

略地図に絵描き歌を付け加えることで、作業を通して、都道府県の位置と名前を楽しく覚えることができた。

最初の絵描き歌は、勉強が嫌いなやんちゃA君が考えてきた。

A君に続くように、多くの子がオリジナルの絵描き歌を考え、関東地方など、次々に絵描き歌が生まれた。

フラッシュカードの活動を通して、自ら進んで都道府県の学習が進められた。都道府県名テストでは、全員が合格することができた。授業の導入が楽しくなり、発展にもつながる魔法の教具がフラッシュカードである。

TOSSテキストを活用した授業実践報告

事前準備ゼロ！　配って読むだけで授業が成立するテキスト

年賀状作成の基礎から応用まで、これ一つで完全ナビゲート！
コンテンツ：「楽しい年賀状を作ろう！」（「手紙の書き方」テキスト）

神奈川県横浜市立洋光台第二小学校　西尾 豊（にしお ゆたか）

「手紙の書き方」テキストを申し込む際、2種類のはがきが注文できる。そこで「年賀はがき」を選ぶとセットで届くのが「楽しい年賀状を作ろう！」という年賀状の書き方テキストだ。6ページ構成の三つ折りリーフレットの中に、年賀状の基本的な説明や書き方、豆知識などが網羅されている。「手紙の書き方」テキストを使ったことのあるクラスなら、配るだけで活動に入れるだろう。

楽しいのは最後のページにある「6　もらってうれしい年賀状を書こう！」。前ページで学んだ基本のかき方を用いて、好きなイラストを入れて年賀状を作るページだ。イラストの例が幾つもあるので、絵が苦手な子も参考にしてかくことができる。また、「消しゴムハンコ」や「ステンシル」なども紹介されているので、好きな子はそういった工夫も加えることができる。12月にぜひ取り組みたいテキストだ。

申し込みは「手紙の書き方体験授業」で検索。上段メニューの「教材申し込み」をクリックするとフォームが出てくる（小学校、中学校、高校、特別支援学校で分かれている）。なお、年賀状の申し込み期限は11月下旬で終了。通常はがきは2月末まで申し込める。

copy free

D デジタル・トークライン連動企画！ デジタルでダウンロード、本誌で解説

教えて褒めるが教師の仕事

叱ることはなぜ駄目なのか。その弊害を知り、共有することで褒める教師集団を創り上げることができる。

北海道江別市立大麻小学校　高杉 祐之（たかすぎ ひろゆき）

プリントは、デジタル・トークラインからダウンロードできます。

向山洋一氏は、

> 教えて褒めるのが教師の仕事

であると主張される。

この向山氏の思想とは対極にあるのが、叱ることである。

もちろん、子供たちと接していて叱ることはある。

短く、ピシッと伝える。そして、すぐに切り替える。これならまだ分かる。

しかし、ここでは、

- 度が過ぎるほど厳しく叱る
- 怒鳴る
- おびえさせるほど追い詰める
- しつこくネチネチ叱る

というような、不適切な叱り方を指すこととする。

1 教えて褒める

子供が何かできないでいるときに、「発達の問題」「家庭環境」などの責任にする教師がいる。そのように考えているうちは、何の解決にもならない。

その子供たちは「やり方が分からないのだ」と捉え、やり方を教えるべきである。つまり、「教える」ということは、子供たちにスキルを与えるということである。

できるようになるまで繰り返し教えていくのが教師の仕事である。

そのために、少しずつ難しくしていく「スモールステップ」や、できることからやり、目標に近づける「シェイピング」という方法で教えていくことが効果的だ。

そして、やらせて「褒める」のだ。褒めることなしに成長はない。たくさんの方法で褒めてあげ、行動を定着させるのである。

2 叱ることの弊害

①近接領域弱化

叱られていることに関係のないことまで全てを駄目だと思い、やる気をなくしてしまうことである。例えば、作文を書いたときに、字の粗雑さを教師が指摘する。子供は、作文を書くと注意されると考え、作文そのものが嫌いになるのである。

②弁別

叱られることが多くなると、叱る人がいるときだけ、良い行動を取り、叱る人がいなくなれば元に戻ってしまう。よくある例として、厳しい男の先生のときは言うことを聞くが、優しい女の先生になると言うことを聞かなくなるということである。

③派生

叱られることが続くと、叱る人、その状況に関わる全てのことが嫌いになる。例えば、国語の先生が叱ることが多い場合、国語の授業はもとより、国語の先生の持っている筆記用具も嫌いになるということである。

④反発

叱る相手に対して、怒る、暴れる、泣くなど感情が高まることである。

「叱る」ことで、子供の不適切な行動が止まる。これによって教師は「叱れば不適切な行動が止まる」という学習をしてしまう。叱ることでしか子供を動かすことができない教師になってしまう。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

TOSS保険でトラブル解決！事件例

教育委員会の議事録で自分の名前が公開された場合、どうすればよいか

回答：TOSS顧問弁護士　中井 光（なかい ひかる）
構成：中谷 康博（なかたに やすひろ）TOSS弁護団事務局

教育委員会の会議の議事録が公開されました。黒塗りの漏れがあり、自分の名前が出てしまいました。どうしたらいいでしょうか。

中井弁護士の回答

個人の氏名は、個人を特定するものです。行政は、氏名の情報を大切に保持し、正当な理由もない中で、みだりに公開してはなりません。本人に無断で氏名を公開することはできないのです。解釈上憲法に根拠があるプライバシー権から見ても、勝手に氏名を公開することは、許されない行為です。

このような個人情報が行政や教育委員会の不注意により流出した場合にどのような責任が生じるかについて、ある通信教育の会社からの個人情報の流出に関わる事案では、一件当たり三千円程度の慰謝料の支払いの判例があります。

ただし、以上のことは、公開が許されない場面だけのことになります。懲戒免職などの事案で名前が公表されている場合など、元々公開が許される経緯のある条件で名前が公表された場合は、それに対して何も異議を申し立てることはできません。

また、マスコミからの報道で、○○小学校の教師が体罰を行ったというようなことが明らかにされることがあります。それは、教育委員会に記者から公開請求をすることができるからです。

今回のケースでは、今後同様のことが起こらないように、公開より先に黒塗り漏れを発見して異議申し立てをすることが大事です。

次回の事件例。回答は次号。

小学校一年生の保護者が、自分の子供に対するいじめを気にして、学校に来ます。校長が、いつでも学校に来てもいいと保護者に話しているのです。子供同士のトラブルがあったときなどには、相手の子供を直接叱責することもあります。

どうすればいいでしょうか。

TOSS教職員賠償責任保険

保護者とのトラブル、同僚とのトラブル、管理職とのトラブル……
裁判になる前から弁護士に相談できるシステムでトラブルに対応します。
保険料は、年間6380円です。**1日たった約20円**で教師人生を守ってもらえるのです。

TOSS教職員賠償責任保険ホームページ　https://tosshoken.com/

イラスト：谷岡 聡美

TOSS授業技量検定八段
手塚美和の算数授業

どの子もできるようになる算数の授業

どの子にも学ぶスキルを身に付けさせるから、できるようになる。

教育出版・1年・p.148
「どんなしきになるかな」

静岡県静岡市立公立小学校
手塚 美和
構成：奈良部 芙由子
静岡県富士宮市立大宮小学校

1 聴覚・視覚の両方から入力

教師：葉っぱの1。押さえます。葉っぱの1。「かなさんはまえから5ばんめにいます。かなさんのうしろには3にんいます。ぜんぶでなんにんいるでしょうか。」

デジタル教材を使っている。先生が読むと、子供たちが自然に追い掛けて読んだ。簡単に見えるが、声の抑揚、目線、リズムなどの技能があるからだ。

手塚美和氏は、耳と目の両方から情報が入ることが大事であると言う。見ることや聞くことが苦手な子への配慮である。

教師：みんなで読みます。「かなさんは」、さんはい。
（みんなで音読する）

次は、子供たちだけで問題文を読ませる。これにより、授業に心地良い緊張感が生まれた。

教師：かなさんはどこにいますか？
教師：指で押さえてごらん。
教師：スクリーンを見なさい。
教師：かなさんはどの子ですか？
教師：この子ですね。前から五番目です。みんなも「まえ」と書きましょう。

これで、全員が「まえ」という語彙を使って、位置を言葉で説明できるようになった。

①指で押さえる。
②教科書と同じ画面を提示。
③「まえ」がどちらかを確認。
④「まえ」を書く場所を確認。

①～④のステップにより、遅れがちな子も、みんなと同じスピードで学習できたのである。

2 「言葉」で揺さぶる

教師：なぜ、この子がかなさんなのですか？
児童：前から五番目だからです。

「前から」をきちんと付けて言っていることを褒めた。

ところが、この後、「後ろから」という教科書に書いてある言葉を根拠に、手塚氏は子供たちを揺さぶるのである。

教師：あれ？　この子は、かなさんじゃないよ。かなさんの後ろに三人いるんだから、この子（前から四番目の子）が、かなさんだよ。この子がかなさんだよね。

この揺さぶりによって、

「そうだよ！」

と先生に賛成する子と、

「違うよ！」

と反論する子に分かれた。

児童：違います。あれは男の子です。
教師：だって、髪の短い女の子かもしれないよ。後ろに三人いるから、この子がかなさんだよ。
児童：違う。後ろが分かんない。
児童：トンネルの中に隠れている。
児童：「前」から数えたら三番目だから違う。
児童：「前」は決まっているけど、「後ろ」は分からない。
児童：「前」から五人じゃなくなっちゃうから駄目だよ。

文章題では、文章を読まず、「挿絵」だけを手掛かりにする子が、クラスに少なからずいる。「言葉」を根拠にして考えさせる学習が必要だ。

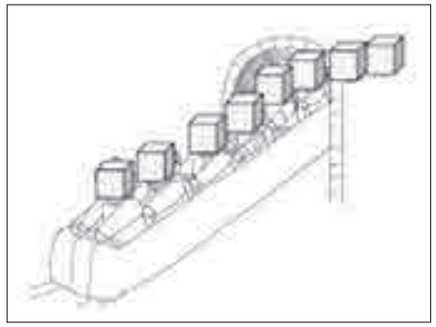
本時の学習は、その練習をすることができる貴重な問題だと手塚氏は言う。

教師：「前」は決まっていたね。ここが「前から」一番目だ。
教師：かなさんの後ろには三人います。何人がトンネルの中にいるのかな。
児童：二人。
教師：みんなも、ここに二人分の○をかきましょう。

3 挿絵から式へ

次は、挿絵をブロック、○、式へと変化させる場面である。

教師：どんぐり君は、何と言っていますか？
児童：「ブロックだと……。」
教師：偉い！　では、これをブロックに変えます。



スクリーンの子供の顔の上にブロックを提示する。提示コンテンツを有効に活用している。

(1)ブロックが下に移動。
(2)ブロックが○に変わる。
(3)○図に数字や言葉を記入。

一連の流れが、スクリーンに、リズム・テンポ良く提示され、スムーズに理解することができた。子供たちがブロックを実際に使って作業したら、時間が何倍も掛かる。ワーキングメモリが少ない子は、混乱するだろう。

教師：全部で何人ですか？
児童：八人です。
教師：何算ですか？
児童：たし算です。
教師：式と答えを書いたら先生の所に持って来ます。

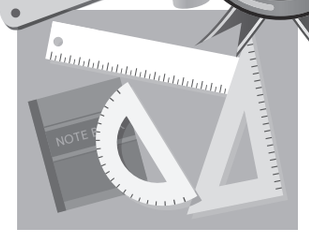
図から、答えを考えさせる。正しい答えを確認する。そして、式と答えを書かせる。どの子も安心して、式と答えを書くことができた。

「キーワードを書く」「隠れた数を見える化する」「言葉を根拠に考える」など、学ぶスキルを身に付けさせた授業でもあった。

TOSS授業技量検定十段
谷和樹の算数授業

算数 SANSU

2年



楽しい活動を効率的に進める

最初から箱を触らせるよりも、ICTを活用して学習する方が効率的。その上でたっぷりと実物にも触れさせたい。

教育出版・2年下・p.57-59
「はこの形」

東京都・玉川大学教職大学院 教授
谷（たに） 和樹（かずき）
構成：松山（まつやま） 英樹（ひでき）
神奈川県川崎市立西御幸小学校

1 最初から箱を触らせるか

「はこ」などの立体的なものを扱う単元だ。「作業」が重要となる。実際に厚紙などで作らせる。模型を触らせる……様々な活動があり得る。

こうした活動は楽しい。熱中する。ただ、問題もある。

①時間が掛かる。
②マネジメントが難しい。
③作業に付いていくことができず、学習が成立しない子がいる。

2 スケッチアップを利用して、授業をスムーズに進める

「ICTの活用」も考えたい。立体的なものを授業するのであれば、例えば「スケッチアップ」はお薦めのソフトだ。

操作が簡単で、リアルに見せることができる。本時のような場面で使用すると、大きな効果を発揮する。

授業では、こうしたICTを活用してスムーズに進め、「具体物」は別途準備して、余った時間や、休み時間などに自由に触らせる方法もある。

もちろん、ICTを使えば即いい授業になるということはない。ICTは、あくまでも授業力のある先生が活用することで効果が出てくる。

元々授業がうまくない先生が、どんなにICTを使っても、やっぱり授業は駄目なままだ。

3 箱のタイプは二種類

箱、はさみ、のりなどを使わないで授業するとしたら、次のようになるだろう。

「葉っぱの1。『紙をはって、きれいなはこを作りましょう。』だね」

発問1 けんじ君とゆみちゃんは、教科書の写真の中のどの箱を使ったのですか。けんじ君が使ったと思う箱を、指で押さえてごらん。

子供たちは教科書をよく見るが、探せない。写真の中にはないのだ。「ありませんね」とだけ確認して次に進む。

発問2 上の箱の中で、ゆみちゃんタイプの箱はどれですか。見付けて丸を付けなさい。

これは見付かる。

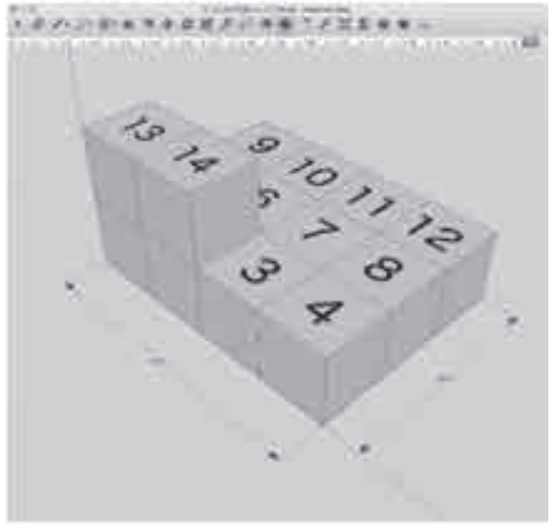
「何個見付かったかな。ゆみちゃんタイプは1個だけだと思う人？ 二個だと思う人？ 三個だと思う人？」

4 面の形と数

発問3 面は幾つあるでしょうか。

スケッチアップを見せて、ぐるぐると回転させて、六つあることを確認するといい。

下に面をばらばらにした絵があるので、けんじ君タイプから数えさせ、番号を書かせる。

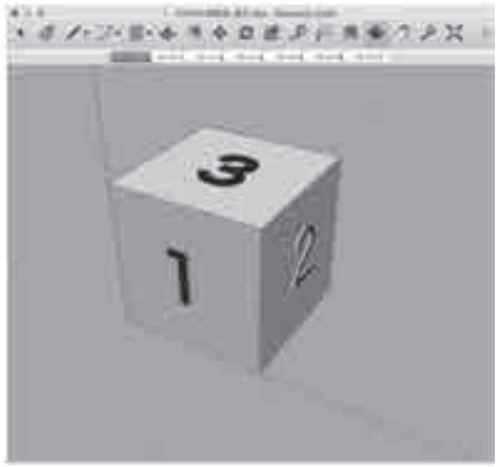


▲スケッチアップで立体を表示した画面例

ゆみちゃんの方も同じように番号を書かせ、何枚あるか確認する。

発問4 けんじ君の方の箱の面の形は、長方形だね。ゆみちゃんの方の箱の面はどんな形ですか。

正方形であることを確認する。



▲スケッチアップで立方体の面の数を表示

▲スケッチアップで展開図のアニメを表示

「先着五名だよ」のように区切って、答え合わせをする。

発問5 面の数は幾つかな。ノートに書けたら、持っていらっしゃい。

5 紙を用意しておく

「葉っぱ2番。『自分ではこを作ってみましょう。▷1はこを切りひらくと、どんな形になるかしらべましょう。』だね。よし、じゃあ切り開いてみますよ」と言って、スケッチアップを見せる。

「どのようにつなぎ合わせればいいかな。」というところは、実際に作業させてみたいところだ。

以上で、大体一時間の内容だろう。

まだ時間が残っているだろうから、先生が用意した紙で箱を作ってみたいという人は、紙を取って休み時間や家で続きをさせることにする。できたのを持って来たときに、「すごいね～」と褒めたい。

デジタル版 DIGITAL
動画を見ることができます!

TOSS授業技量検定十段
河田孝文の算数授業

算数 SANSU

3年

3年生の難関単元「2桁×2桁の筆算」は、補助計算とかいだんで攻略する

子供のつまずきを事前に防ぐ必須アイテム「補助計算」と「かいだん」で難関教材も。

啓林館・3年下・p.88

山口県下関市立楢崎小学校
河田 孝文（かわた たかふみ）
構成：下窪 理政（しもくぼ りせい）
山口県下関市立長府小学校

1 二桁×二桁のかけ算の筆算は、エラーだらけだ

三年生の算数難関教材の一つは、二桁×二桁のかけ算だ。エラーを起こすのは、二つである。一つは、かける順番を間違うところである。もう一つは、十の位のかけ算のときに、一マスずらすところである。どちらもスキルとして、「見える化」して、エラーを起こすのを防ぎたい。丁寧さだけでは、困難である。一つ一つの作業を細分化することがポイントになる。

2 仕組みをスキルと見誤るところである

まずは、ページを仕組みとスキルで分ける。

※ 教科書をもとにかき起こしました。

ここまでが、仕組みになっている。ここから先がスキルになっているのだ。かけ算の筆算の仕組みとスキルを同じように考えそうになる。だが、ここで仕組みを教えただけでは、スキルを習得できない。判断基準は、仕組みを手放しで子供が再現できるかだ。仕組みを教えただけでできるようになったと思い込まないように心したい。

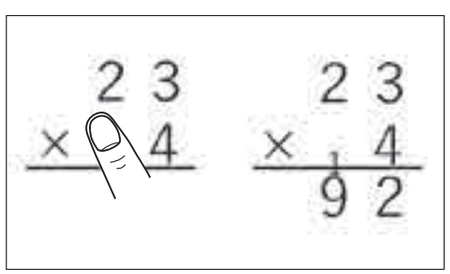
3 既習を生かして、ゴールを確定する

教科書に書き込めば、答えを確定することができる。30個分も4個分も既習事項なので、さらっと扱う。絵を数えても答えが出るので、安心して次に向かうことができる。

4 補助計算は、堂々と書くことが大切だ。小さく書かせないことがポイントだ

補助計算の中では、繰り上がりのところをチェックする。繰り上がりの1を引っ掛けているのかをノートチェックして、指導を一貫させておきたい。かけ算する順番を間違わないように、指で隠しておくのも、向山型算数の大事なパーツの一つである。

次は、補助計算を写す。写すことで、繰り上がりの計算で筆算の中がごちゃごちゃせずにできる。美しいノートへの布石となっている。

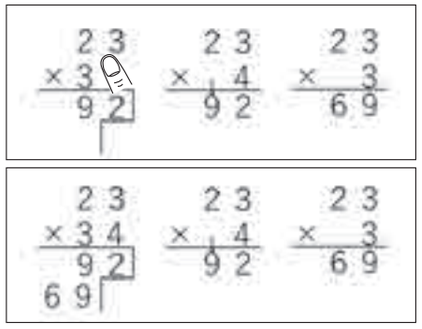


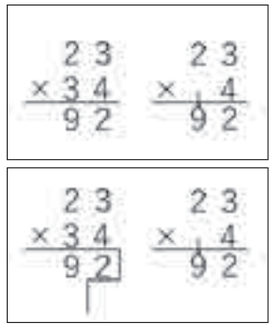
イラスト：ナカジマ ヤヨイ

そして、「かいだん」である。子供たちと一緒に言う。

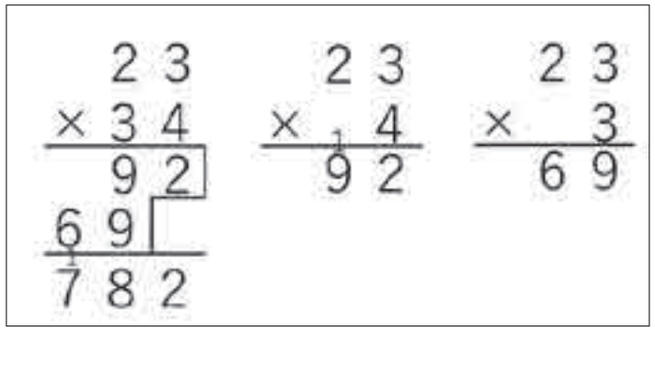
「かいだん」と言いながら、書かせる。

次からの十の位は、同じアルゴリズム※になっている。





※問題を解くための手順を定型化したもの。



「次、何をしますか」

「補助計算です」

「補助計算、23×3」

「次に何をしますか」

「写します」

同じアルゴリズムなので、テンポ良く進めたい。

ここまで来て、たし算で間違ってはもったいない。

一の位から、確認をする。

「2＋0＝2」

「9＋9＝18」

「1引っ掛けて、8」

「6＋1＝7」

「答えは782です」

5 スキルが、身に付いたかどうかは、二段階でチェックをする

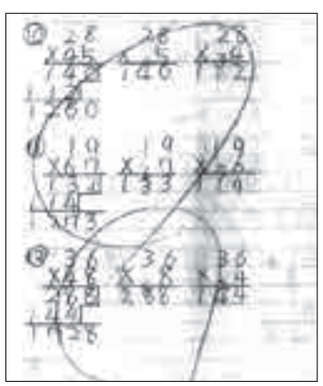
新スキルが導入されたときには、一つ目は、例題をもう一度子供たちだけでノートに書かせて持って来させる。ナビゲートしたものをもう一度再現させるのだ。筆算は、手順が多いので十分な時間を与えて行いたい。ノートも堂々と使わせたい。

もう一つは、練習問題に入ってからだ。まずは、練習問題の一番だけ一緒に解くようにする。手放しするには、早すぎる。持って来させてスキルが子供に身に付いているのかを確認する。

一つ一つを教師と子供で一緒に確認しながら進めていく。

できたら、次の問題へと移行する。三年生の難関教材である。一つの手順が抜けると、計算全部が破綻することになる。

また、練習量も十分に確保したい。二桁×二桁のかけ算のスキルが手に入れば、次のページの三桁×二桁のかけ算の筆算のスキルが、同一のラインに乗って、理解が進み、スキルを習得することができる。

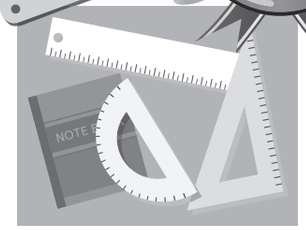


デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

TOSS授業技量検定三段
鈴木恭子の算数授業

算数 SANSU

4年



小数点の移動を視覚化する

小数点の移動をゆび書きで覚える。小数点以下の数字に○を付けることで作業のミスをなくす。

東京書籍・4年下・p.54-57

神奈川県相模原市立大島小学校
鈴木（すずき） 恭子（きょうこ）

小数のかけ算は、小数点移動の仕方をシンプルにすることで、低位の児童も正しく計算できる。

1 教科書に書き込む

五四ページの既習事項は、教科書に書き込んで、考え方を言葉で確認する丸を付ける。

「3かける4は12。3を10倍しているので、答えも10倍になる。答えは120です」

先生問題を追加したり説明したりすると、テンポが崩れる。

2 問題を理解する

小数点のない「3」にして立式して練習。式を教科書の鉛筆マークに書く。隣と確認。丸を付ける。

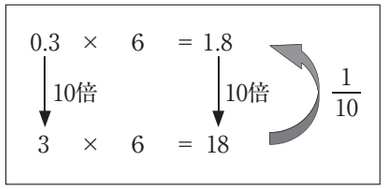
児童の中には、教科書への書き込みを「いけないこと」と捉えている子がいる。しっかりと書き込み、丸を付けて先に進みたい。

教科書の数直線を活用して答えを出す。2本は0.6、3本は0.9……。とメモリを書き込むと見えてくる。図から答えを導くことができると、低位の子らも安心する。

3 小数点の動きに注目させる

「かおり方式」のみを扱う。1を0.3と考えるのではなく、0.1を1と考えると18個分になる。それを横の式に書き換える。

「0.3を10倍したので答えも10倍になっているから、答えを10でわる」



練習問題は、一問目で持って来させる。早く終わった児童に板書させて答え合わせ。二桁の計算でも同じことを確認。

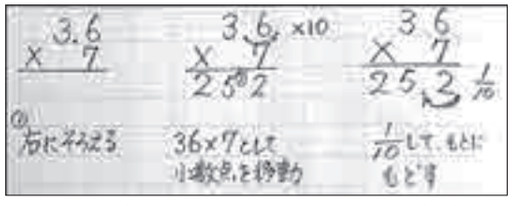
1 1本0.3L入りのジュースがあります。このジュースを6本買うと、ジュースは全部で何Lになりますか。

4 筆算で考える

かけ算の筆算は、位をそろえて書かない。右にそろえて書く。この時点で整数として計算していることになる。

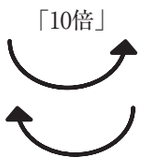
次に、答えを10でわる。小数点は左へ。

ここで小数点の動きに注目させる。右に動いた小数が同じ分だけ戻る。

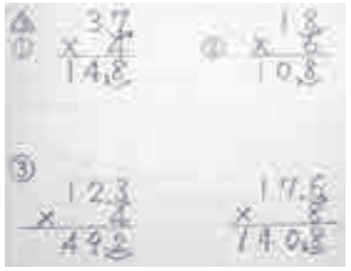


作業と動きを連動させるために、小数点の動きを指でなぞらせる。空書きもやってみる。

また、指揮者の二拍子のように人差し指を振りながら、言葉でも「10倍、$\frac{1}{10}$」



ノート作業をする。小数点の移動を（半括弧矢印）かく。右に1、答えは左に1。「行って、戻る」を書いて視覚化する。書いて作業するから覚える。頭で覚えるのではない。手で覚えるイメージだ。



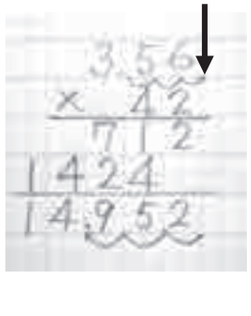
5 必ず作業をさせる

慣れてくると、作業をしなくなる子が出てくる。正答が求められればよいという話ではあるが、そうではない。一月のこの時期にこそ語りたい。

「めんどくさくてもやり抜くことができる自分を好きになりなさい。算数ができることも大事ですが、それ以上に、めんどくさくても素直に頑張ってやり抜くことの方がもっと大事なのです」

6 小数点以下に○を付ける

この単元を授業したとき、半括弧の小数点の移動が難しい子がいた。位の途中で括弧を作ってしまったのである。



つまり、この子は10倍する意味や10分の1する意味を理解していなかったのである。また、ノートに大きく文字を書いていない子や丁寧に書いていない子にも誤りが多く見られた。

そこで、半括弧ではなく、**小数点以下の数字に○を付ける**とした。

	3.⑥	
×		7
2	5	2

	3	6.
×		7
2	5	.②

①小数点以下の数字に○を付ける。

②かけ算の答えを出す。

③答えの右から○を付けた数（右の計算の場合は2）に○を付ける。

④○を付けた数字の左に小数点を打つ。

この方法で、上記の児童の誤答は明らかに減らすことができた。

この単元では、小数点二位×二桁の整数までの計算を学ぶ。この先、小数×小数のかけ算になったとき、この指導法は効果を更に発揮する。何桁になっても、○の数だけ、答えの小数点を戻せばよいからである。

半括弧矢印と○の両方の指導をしてみたが、児童の感想は「○をかいた方法の方が簡単だ」という声が多かった。

今だけできればよいのではない。三学期初めの単元、次学年への自信を付けるときである。ノー作業を通して算数の考え方を身に付け、ノートを丁寧に書き続けられる自分に自信をもたせたい。

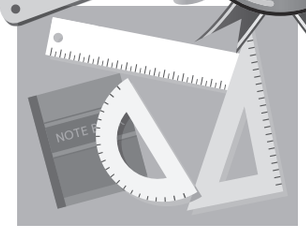
単元終了後には単元で成長したことの感想を書かせたい。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

TOSS授業技量検定九段
松崎力の算数授業

算数 SANSU

5年



立体の性質を実感させる

「立体の性質」は、作業を通して内容を実感させる。その際、教師のパフォーマンスで、子供たちを熱中させる。これができれば、定着率は格段に上昇する。

栃木県真岡市立真岡東小学校
松崎（まつざき） 力（つとむ）

1 作業を通して実感させる

どの学校にも、角柱や円柱の立体模型があるであろう。

例えば、三角柱の模型が、学級の児童数分あれば、申し分ない。しかし、よくて三人に一つしか割り当たらないだろう。

そのため、教師が模型を見せながら、全員に説明をするという指導が多いのではないか。

角柱と円柱の性質は、次のようになる。

〈角柱の性質〉
①二つの底面は合同な多角形である。
②二つの底面は平行である。
③側面は長方形か正方形である。

〈円柱の性質〉
①二つの底面は合同な円である。
②二つの底面は平行である。
③側面は曲面である。

例えば、「三角柱の底面が合同な三角形である」という性質を取り上げるとき、次のような指導場面をよく見掛ける。

それは、子供たちに三角柱の底面を見せながら、「こちらの底面は三角形ですね」と言いながら三角柱をひっくり返して、「こちらの底面も三角形ですね」と教師が、一方的に説明をする場面である。

確かに、三角形と三角形であるから、「見れば分かる」と思われる。だから、簡単に説明をして、次に進みたくなる。

ただ、これはもったいない。そこに子供たちの実感が伴っていないので、定着しない。

しっかりと定着をさせたいのであれば、実際に合同であることを子供自身に納得させなければならない。

数ある角柱の中で、一つだけでもいいから、実際に作業をして、「やはり二つの底面は、合同だった」と納得させたい。

そこで、使いたいのが、先に挙げた角柱や円柱の教具である。

数が足りないのは痛いが、時間が掛かっても、子供たちに作業をさせる。

まず、小さめの画用紙を二枚配付する。

一枚に一方の底面を写し取り、もう一枚に反対側の底面を写し取らせる。

それらを切り取らせる。

そして、重ねる。

正確に写し取り、切ることができていれば、ぴったり重なるはずである。

恐らくほとんどの子は、ぴったり重なっていると思う。

この作業で、二つの底面が合同であるということを実感させる。

仮に正確に切り取ることができなくても、よいと思っている。

その子たちには、正確に切り取る経験がなかったのかもしれない。

ならば、そういった経験の場を提供できたことには、価値があると考えられる。

ただし、底面が合同になるという性質を定着させるのだから、

子供たちが納得するような、教師のパフォーマンスが必要になる。

2 教師は役者たれ

最近、多くの研究授業を見る機会があった。

若手、中堅、ベテランと年齢層はバラエティーに富んでいる。

それら授業者に、共通して足りなかったことがあった。

それは、「教師は役者だ」という意識である。

表情に変化がなく、声も一定の音域内にとどまっている。抑揚がない。

もちろん、極端な抑揚は、お勧めできないが、ある程度の抑揚は必要である。

そのことで、リズムが生まれてくるのだ。

研究授業であるから、褒め言葉は頻繁に出ていた。

しかし、そこに笑顔が伴っていない。

だから、子供の中に、褒め言葉が入っていかない。

つまり、子供は褒められているという意識にならないのだ。

私は、教師は最大の刺激物として、授業の中で活躍してほしいと思っている。

教師のパフォーマンスが、子供を熱中させることはしばしばある。

刺激物に成り得ないのは、パフォーマンスが中途半端なことに起因している。

その最たるものは、驚きの欠如である。

例えば、先に示した「二つの底面は合同な多角形である。」という性質を調べる活動で考えてみよう。

まずは子供たちに二つの底面を切り取らせる。

そして、「何か気付いたことはないか」と尋ねてみる。

子供は、「同じ大きさだ」と答えるだろう。

そのとき、「よく気付いたね」と言ってしまえば、それで終わってしまう。

そこが、腕の見せどころである。

ワンクッション入れて「え？そんなことないでしょう」といぶかしんで見せる。

すると子供たちは、「同じだよ」「同じ！」と口々に言う。

そこで、「どれ、見せてごらん」と言って、二つの図形を重ねてみる。

そして、「あ！　本当だ！すごいね。よく気が付いたね」と感情豊かに褒めてあげる。

さらに、「二つが同じになった人？」と全員に挙手を求める。

ほとんどの子が手を挙げるだろう。

そこに間髪入れずに、「さすが！　スーパー五年生！」と褒めていく。

角柱の「二つの底面は合同な多角形である」という性質を、子供たちは、作業を通して確認し、先生の「驚き」で納得するのである。

残り二つの性質についても、同様に活動を通して実感させる。

②の「二つの底面は平行である」も、上部の底面に定規を載せて、横から見て、机と平行であることで確認する。

③の「側面は長方形が正方形である」についても、実際に側面を写し取らせてみる。

これは、なかなか難しいが、やらせてみれば、長方形に写し取れている子もかなりの数いる。

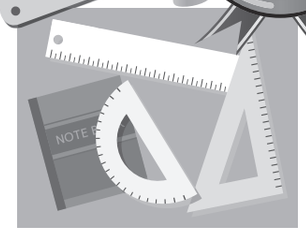
それを見付け、驚き褒める。

ただ単に、教師が教具を手にして説明するだけではなく、実際に作業を通して真理を導いていく。実感とパフォーマンスが、確実な定着を図る秘訣（ひけつ）である。

TOSS授業技量検定九段
木村重夫の算数授業

算数 SANSU

6年



教師の言葉が減っていき、子供が活躍するようになる向山型算数

教科書をしっかり見て、速さを求め、説明させる。太字は向山型算数の典型的な指導パーツ。

学校図書・6年・p.95-96
「速さ」

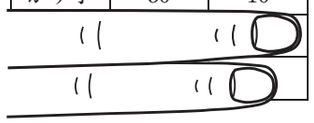
東京都・日本文化大學 講師
木村 重夫（きむら しげお）

1 表を指で隠す

二人ずつ二組の競走場面。走った道のりと時間の表を扱う。

あつしさんとかず子さんだけを見ます。下の二人の数字を指で隠してごらん。

名前	道のり（m）	時間（秒）
あつし	50	8
かず子	50	10



必要な情報だけに注目させる。

「どちらが速いですか？」

「理由が言える人？」

「同じ道のりなのに、あつしさんの方が走る時間が短いから」

「近くの人に言ってごらん」

次に、先生は何て言うと思いますか。

右の問いに子供が答えられれば、手順が理解できている。

（上の二人を隠しなさい）

「どちらが速いですか？」

「理由が言える人？」

「同じ時間なのに、たまみさんの方が走る道のりが長いから」

「近くの人に言ってごらん」

「教科書①、②。□に名前を書きなさい」

口頭でやり取りしてから、教科書に書き込ませればスムーズにできる。

「それでは、速い者同士、あつしさんとたまみさんではどちらが速いでしょうか」

一部の「できる子」は答えられるだろうが、多くの子はよく分からない。モタモタ考えさせるところではない。

「次のページ」

2 三点セットで速さ比べ

教科書に二人の考え方が載っている。一人の考え方をノートの左ページに書かせる。

だいき
時間をそろえて比べる。
1秒間あたり何m走ったか。

「式を書きなさい」

とっても簡単ですね。なぜですか。
（教科書に書いてあります）
そのとおり！

「教科書はお手本です。教科書をきちんと見ることはとても大切です」

筆算もノートに書くのですよ。大きく堂々と書きなさい。
答え　6．25m。
式・筆算・答えのことを何と言いますか。
「三点セット」ですね。

同様に、たまみさんの速さも求める。

「『だから、□さんの方が速い』□に名前を入れるのですよ」

ここまでで、速さの説明の基本型がノートに書けた。

3 声に出して言わせる

書いて終わらない。読ませる。

「だいきさんの考えを説明します」「だいきさんは時間をそろえて比べました」「1秒間あたり何m走ったかを調べました」

「あつしさん、（三点セットを読む）」「たまみさん（三点セットを読む）」「だから、あつしさんの方が速いです」

追い読みの後は一人で読む。声に出して言うことも大切だ。

これを「説明」と言います。

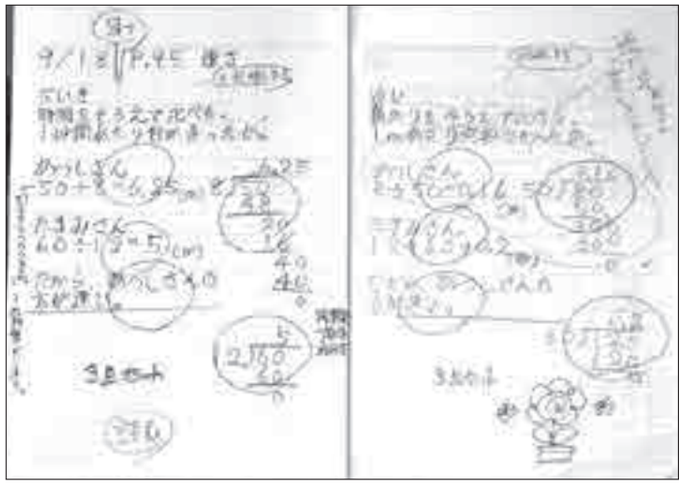
4 もう一つの説明を書く

次は右ページに書く。

ゆいさんの考えを、同じように三点セットを使ってノートに説明してごらんなさい。

シーンとなる。教師は机間指導する。配慮の要る子には、**赤鉛筆で薄く書いてやってなぞらせる。**全員でノートに書いた説明を読む。

左の写真は、教材研究で書いた子供のノートである。子供と同じ「TOSSノート」に書いておくと、指導しやすい。



遅かった者同士、かず子さんとさとしさんの速さを比べます。だいきさんの考え方でやります。二人の速さをノートに説明しましょう。

書けたらノートを持っていらっしゃい。

黒板を二つに分けて、かず子さんとさとしさんを三人ずつ板書させた。ほかの子のノートには次々と○を付ける。板書した子に読ませた。途中で全員に言う。

5 型に合わせて書く

定義を読む。「速さは、単位時間あたりに進む道のりで表します。」とある。

「速さを求めるときは、普通、だいきさんの考え方でやるのですね」

問違えた人は黒板を見て直しなさい。まだの人は黒板を見て写しなさい。写すのもお勉強のうちです。

一番いけないのは、ノートに何も書いてないことです。

「あかねこ計算スキル」（光村教育図書）で終了。

以上は、神奈川の小学校六年生への飛び込み授業である。

参観された先生が言った。

「先生の言葉がだんだん減っていって、逆に子供の話す言葉が増えていました」

向山型算数をすると、教師の言葉はだんだん減り、子供が活躍するようになる。

算数が苦手な女子の声。

「木村先生の授業、めっちゃ分かりやすかった」

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

基礎・基本

理科

４年「物のあたたまり方」の基礎・基本

金属の温まり方を基に、水の温まり方を考える。

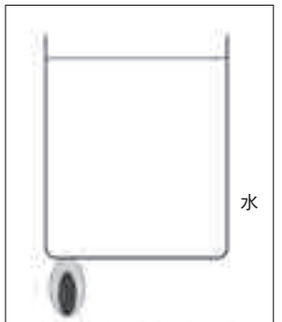
東京書籍・４年・p151-152

東京都公立小学校
髙木（たかぎ） 順一（じゅんいち）

1 温まり方を予想する

温められた水はどのように動くのだろうか。

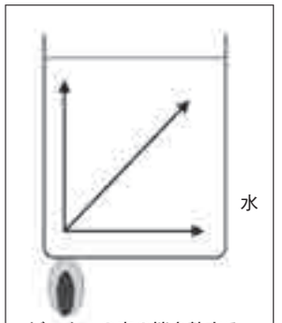
教科書では、金属、水、空気の順で実験する。水の温まり方を予想するときには、児童の体験や経験、既習の金属の温まり方を想起させるなどするとよい。



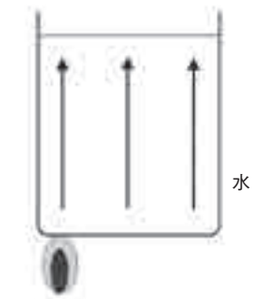
ビーカーの底の端を熱する

左上の図のようなワークシートを作成、もしくはノートにかかせて、温められた水の動きを予想し、矢印などをかかせる。

温められた水は、どのように動くか、図に矢印でかきます。理由も書きます。



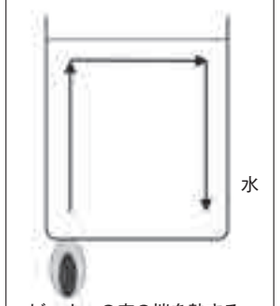
ビーカーの底の端を熱する



ビーカーの底の端を熱する

「金属は温めた所から順に温まったので、水も同じだと思う」

「料理をしたときに、下から泡が出てきたので、底から温まると思う」



ビーカーの底の端を熱する

「お風呂に入ったとき、下の方がぬるくて、上の方が温かいことがあったから、円を描くように温まると思う」

2 実験し結論をまとめる

おがくずを入れた水と、サーモインクを入れた水を熱して、温められた水の動き方を調べ、記録する。

おがくずを使った実験では、おがくずが上の方に行く様子が確認できる。

サーモインクを使った実験では、温まったサーモインクが下の方から上の方に行き、色が変わっていく様子が確認できる。

児童の発言から結論をまとめる。

温められた水は上に動く。
水は、動きながら全体が温まっていく。

主体的・対話的で深い学び

理科

４年「物のあたたまり方」の主体的・対話的で深い学び

児童が実験道具と実験方法を考え、水の動きと温まり方を一度に調べる実践。

東京書籍・４年・p.151-152

東京都公立小学校
髙木（たかぎ） 順一（じゅんいち）

1 実験道具・方法を考える

水の温まり方と、水の動きを調べるという問題を作った後、予想を立て、実験道具を考える。

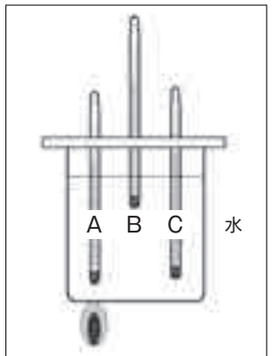
必要な実験道具と、実験方法を考えます。

どのような実験道具が必要か、考える過程で、使ったことのある温度計が出てくる。温度計をどのように使ったら、動きや温まり方を調べられるか、助言しながら考えていく。教師が一方的に与えるのではなく、児童と一緒に考えることで、主体的・対話的で深い学びにつながる。

「温まり方や動きを調べるから、上や下に温度計を置きたい」

温度計の高さを変えて調べたいという児童の意見を取り入れ、ビーカーの上に、温度計を入れる穴を開けた長方形のプラスチック段ボール（三センチメートル×一五センチメートル）を乗せて実験をした。実験方法は次のとおりである。

1. 一〇〇〇ミリリットルのビーカーに、水を八〇〇ミリリットル入れる。
2. 実験器具に温度計を挿し、ビーカーの上に載せる。
3. Aの温度計の真下から熱する。
4. 一分ごとにそれぞれの温度計の数値を記録する。
5. 五分たったら、火を止めて記録をまとめる。



Aの温度計の下から熱する

本実験では、一〇〇〇ミリリットルのビーカーを使用した。温度の差を見やすくするためである。

水圧が掛かって割れやすくなるため、使用には十分に注意する。特に、机に置くときにはそっと丁寧に置くようにする。

温度の差は僅かであるが、A、B、Cの順に温まっていくことが分かった。

2 児童の理解を深める実験

温められた水は上に動く。
水は、動きながら全体が温まっていく。

といった結論を児童と一緒に考えられるとよい。

「金属を温めるときには、ロウを使って温まり方や動きを見やすくした。水にもロウみたいなものはないかな」

児童から、このような意見が出たので、最後に、児童の理解を深めるための実験として液体洗剤を使って演示実験をした。

洗剤を、ビーカーに入れて温める。すると、白い線が見えてきて、温めた所から上に行き、全体が温まる様子をはっきり見ることができる。児童の理解が深まった。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

道徳 6年

「国際理解・国際親善」の資料で、寛容さを育てる

実際のエピソードは、「すごいところ」を問うだけで伝わることがある。
教科書掲載の「力のある資料」をぜひ授業しよう！

学校図書・6年・p.82-85
「ペルーは泣いている」

兵庫県洲本市立洲本第一小学校
堀田（ほりた） 和秀（かずひで）

1 「寛容」を育てるもう一つの項目―「国際理解・国際親善」

学習指導要領の内容項目には、「相互理解・寛容」という項目があるが、これだけを授業したのでは十分ではない。

実は、それ以外に「寛容」に近い項目がある。

国際理解・国際親善

である。

「国際理解・国際親善」の資料には、外国の人たちの文化や考え方、日本人とのエピソードなどが掲載されている。外国の文化や考え方を受け入れることもまた、「寛容」であると言える。

2 「ペルーは泣いている」を、こう授業する

〈あらすじ〉ペルー女子バレーボールチームの監督となった加藤明さん。日本流の練習方法を取り入れるが、そのあまりの厳しさに不満が続出し、何名かがやめてしまう。加藤さんは、考えを変えて、選手と一緒に食事をしたり、日本の歌を教えたり、逆にペルーの歴史や文化を学んだりすることで、ペルーの選手に受け入れられていく、という実際のエピソードである。

①**資料の読み聞かせ**

②**簡単に内容を確認する**

発問1 このお話を聞いて、「すごいな」と思ったところはどこですか。

指示1 鉛筆で線を引きなさい。

・アキラさんが、ペルーの選手と食事に行ったり、日本の歌を一緒に歌ったりしたこと。
・アキラさんが、ペルーの歴史や文化を学ぼうとしたこと。
・東京オリンピックの会場で「上を向いて歩こう」を、ペルーの選手が歌ったこと。

指示2 そう思った理由をノートに書きなさい。

・外国の文化を学ぼうと頑張っているから。
・ペルーの選手が、加藤さんに恩返しをしたと思ったから。

この資料は、実際のエピソードである。このような場合、「すごいと思うところはどこか」という発問は、全体を理解させる上で、有効である。

③**主発問を行う**

発問2 アキラさんとペルーの選手が分かり合えたのは、どの時点ですか。

指示3 理由も合わせて、ノートに書きなさい。

・アキラさんがペルーの選手とごはんを食べるようになったとき。理由は、選手たちが「家族のように結び付いていると感じた」と書いているから。
・ペルーの選手が日本語で「ハーイ」と返事をするようになったとき。理由は、お互いに理解し合えたから、日本語で答えてくれるようになったと思う。

様々な意見を聞くことで「寛容性・多様性」を子供たちは学んでいく。

④**感想を書かせる**

実際のエピソードには力がある。授業して、子供たちの「寛容さ」を育てていきたい。

英語 6年

最終単元は「答え方7」でディベートを！

井戸砂織氏が提案した「答え方7」を活用し、中学校生活を題材にしたディベートを仕組む。

We Can！2・p.66-73
「Unit9 Junior High School Life」

岐阜県御嵩町立御嵩小学校
苅谷（かりや） 尚久（なおひさ）

1 三つの型

サマーセミナー2019で、井戸砂織氏から提案された「やり取りを長く続けるための三つの型」は衝撃的だった。

井戸学級の事実は圧倒的だ。延々とやり取りを続ける子供たちが次々と生まれている。

「どうして同じ小学生がこうなるのか？」という疑問を、恐らくどの教師も抱いていたに違いない。しかし、その秘密の一端が、今年度ついに公開された。

「リアクション3」
「尋ね方8」
「答え方7」

という具体的な「三つの型」として、極めて整理された形で提案されたのである（『トークライン』誌 二〇一九年十月号 井戸氏論文五三ページに詳しい）。

2 教科書単元で活用する

六年生の最終単元である「Unit9 Junior High School Life」の授業でも、もちろんそれは追試可能である。

まず、テキストの中から「やり取り」の材料となるダイアローグを見付ける。

本単元「Unit9」では、「中学校生活ではどんな部活動に参加したいか」と「中学校生活ではどんな学校行事が楽しみか」という二つの疑問文を扱う。今回は後者の質問から「やり取り」に発展させる例を示す。メインとなるダイアローグは左記のとおりとなる。

A: What event do you want to enjoy?
B: I want to enjoy ① the music festival.
A: Why?
B: Because ②

①には音楽祭をはじめとした、様々な学校行事が入る。

②の部分で活用できるのが「答え方7」である。

1）I like ～.
2）I have ～.
3）I want ～.
4）It's 形容詞・名詞.
5）I can ～.
6）I'm good at ～.
7）My favorite ～ is ～.

この七つの「型」に当てはめればよい。さらに「ディベート」へと発展させると盛り上がる。展開は「討論」の定石に従う。

(1)二つに絞り込む。
(2)少数派から理由を言わせる。

学校行事を二つ取り上げ、教師がA、児童にBを言わせる。どちらの行事が楽しみか尋ねて、教室を二つのグループに分ける。理由を言えたら黒板に正の字でポイントを加算していくと熱狂する。慣れてきたらペアや班など、子供同士でもできる。

中学校の授業実践
理科

自由度を高めた「電池」実験

教師が用意した必要最低限の用具を使い、予想どおりの結果しか出ない実験は面白くない。やはり、理科は感動だ。

北海道湧別高等学校
上田（うえだ） 浩人（ひろと）

時間を割き、物を用意して迎えた実験。生徒も楽しんでくれるだろうと期待する。

しかし、思ったほど盛り上がらず終了する。「せっかく準備したのに……」とやり切れない気持ちになる。このような経験はないだろうか。原因の一つとして、次のことが考えられる。

実験の自由度が低い。

化学分野の酸化還元における、自由度を高めた実験を紹介する。

1 電解質を変える

有名な電池実験の一つ、レモン電池。レモンに銅板と亜鉛板を差し込み、電線でつなぐと電気が流れる。ボルタの電池と同じ原理である。

しかし、ある年の生徒は、この実験をしてもさほど盛り上がらなかった。

自由度を高めるため、下の写真のように複数の果物・野菜を用意し、電池になりうるかを調べさせた。

教師の実験机にトレイごと置き、一つずつ持って行かせた。

「次のサンプルを持って行く際は、必ず戻すこと」と指示を出した。

ここでポイントになるのが電圧計である。電池の力である起電力が弱い果物電池は、単独でLED電球を光らせたり、電子オルゴールを鳴らしたりするだけの力はないものが多い。よって、起電力を数値で測るため、電圧計を用いる。

しかし、アナログの電圧計は使い方が難しい。また、ショートを避けるため、何度もつなぎ替える必要があり、手間である。

ここで役に立つのがデジタル電圧計である。クリップを金属板につなぐだけで、電圧がデジタルで示される。つなぎ替える必要はない。また、プラス・マイナスを逆に付けてしまったとしても、数値がマイナス表示になるだけである。

全部のサンプルについて調べさせる。その後、黒板に計測値を書かせ、結果を共有した。

なお、一度使用した果物や野菜には金属が溶けているため、食べずに廃棄する。複数クラスで使用したい場合は、カットして使うとよい。

2 金属板を替える

電解質を比べる実験の次に、金属板を比べる実験をしている。同じ電解質を使い、金属板のみを替える実験である。

銅、亜鉛に加え、アルミニウム、鉄、鉛の五種類を用いた。これにより、5×5の二十五通りの実験をすることができる。

結果として、亜鉛と銅を用いた組み合わせが最も起電力が高くなる。ボルタの電池と同じになった。

「あなたたちと同じような実験を、ボルタさんもしたのかもね」と話し、授業を終えた。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

中学校の授業実践
保健体育

誰もが打つ、走る、ソフトボールの授業

視点を変えたスモールステップの指導とルールの工夫が、できない子に成功体験を与える。

宮城県石巻市立湊中学校
岡（おか） 拓真（たくま）

1 中学校ソフトボールの実践

ソフトボールの実践である。小規模校のため、男女共修で行うが、その際に次の三点に留意する。

一、全ての子に成功体験を保証する指導法の工夫
二、能力差を解消し、できる子も満足するルールの工夫
三、三年間の伸びを見通した単元計画

一について詳しく述べる。

2 「スリッパ」で捕球感覚を養う

最初からグローブを着けて練習を行わせない。二人組で、相手の前に下投げでゴロを転がす指導と、その捕球から行う。このとき、グローブの代わりに百円ショップで購入したスリッパを装着させる。

以下、指導のステップを示す。

①スリッパにボールを当てて、自分の前にボールを落としなさい。
②ボールに対して体の正面で取りなさい。
③上から見て、爪先が隠れるくらい膝を曲げなさい。
④右手でボールに蓋をしなさい。

慣れてくると、①と④は同時になる。野球部やソフトボール部の生徒に示範させ、「自分の動きと違うところはどこですか？　言い合いなさい」と発問し、見付けさせる。この四つができているかを個別評定し、できているペアからグローブを着けてキャッチボールを行わせる。

単元の最初は、どの学年であってもスリッパを使って丁寧に捕球の指導を行う。

3 ティーバッティング

捕球とバッティングの技能を同時に養うために、ティーバッティングを行う。

以下の指導ステップで行う。

①二人組でバッティングフォームを確認する。このとき、両手を顔の前にして構えさせる。
②ボールは下投げで、顔の前に優しく投げる。
③バッターは顔の前のボールをバットで払う。このとき、バットは上から下に振り下ろす。

③の指示は、今年度、愛知の辻拓也氏に教えてもらった指導である。運動が苦手な女子生徒も、次々とバットにボールを当てていった。

4 ルールの工夫による運動量の確保

ベースボール型の運動では、ボールが動いていないときの運動量が限られる。そこで、次のルールが運動量を確保する。

バッターとランナーを分ける

女子がボールを打ったときに男子が走る。男子がボールを打ったときに女子が走る。このようにするだけで、ボールを遠くに飛ばすことができない女子のために懸命に走る男子が出現する。男子と女子、運動が得意な子と苦手な子の能力差を解消するルールを工夫し、全ての生徒に成功体験を保証していく。

教室から出て外で過ごしてしまう子への対応

できたことを評価し、教室にいることを褒める。

安原こどもクリニック院長　安原（やすはら）昭博（あきひろ）
構成：上田（うえだ）怜史（さとし）
大阪府大阪市立市岡小学校

医師の目から見た特別支援教育

小学三年生男子です。学習には遅れはなく、ふだんは人懐っこいのですが、友達と口論になったり、殴り合いのけんかをしたりのトラブルがあります。授業中抜け出して階段で寝転んだり、支援学級の前で過ごしたりしていることがあります。教室を抜け出しているのを見掛けたときに、「教室に戻ろうよ」と声を掛けると、「戻らんでええねん。死んでもいいし」と答えます。教室で落ち着いて過ごせるように、どのような支援をすればよいですか？

二つに分けて考えるべきです。

まず、口論になったり殴り合いになったりする点については、原因を聞き、それに対して、丁寧にどうしたらいいかを教えてあげるといいと思います。例えば、「目を見てきたから殴った」という場合、「興味や好意があるから見ているのだ」と、見方を好転させるような声掛けをするといいでしょう。

また、学習に遅れがないのに授業に出ずに外で過ごしている点については、自尊感情が落ちていると思われます。基本方針としては、できていることへの評価をし、「君のことをいつも気に掛けているよ」と声を掛けることが大事です。

担任の先生はほかの子がいるので難しいため、担任外の先生が声を掛ける必要があると思います。声の掛け方は、「教室に戻りなさい」ではなくて、

> 抜け出した理由を上手に聞き出せるような声掛け

がいいでしょう。この子の〝しんどさ〟に寄り添えるようにしないと、心を開いてくれないと思います。

また、「死んでもいいし」という言葉が出ているので、まず「ここにいたのか」と、見付けられて安堵（あんど）したことを伝えましょう。そして、外にいる時間を楽しい時間にしてあげたり、その子にとって明るい時間にしたりすることで、自尊心の低下を補填（ほてん）することにつながります。

担任の先生は、教室に帰って来たときに、

> 戻ったことを褒めてください。

ここでしてはいけないのは、叱ることです。たとえ戻って来る時間が遅くても、その点には触れず、ポジティブな考えをもって接するといいと思います。

安原 昭博
安原こどもクリニック
院長

保護者との支援会議における問題行動の共有①

こんな支援会議をしては駄目！

長野県長野市立川田小学校　小嶋（こじま）悠紀（ゆうき）

小嶋が答える「この問題行動場面」での合理的配慮はこれだ

保護者との支援会議が本当に悲惨である。自身も保護者となったからこそ痛感する。

保護者への配慮、支援方針など迷走した状態で支援会議が行われている。

幾つか具体例を挙げていく。

こんな支援会議をしては駄目！ その1　困ったことだけを伝え続ける

これは、日本全国で見られているようだ。

「学校では○○なんです」

「学級で△△して困っているんです」

「とても乱暴で困っています」

学校側が一方的に子供の「駄目な点ばかり」を言ってしまう。何とかしたい気持ち、保護者にも知ってほしいという学校サイドの気持ちも分かる。

しかし、保護者サイドからすると、

「親としてはどうしていいか分からない」

「家で叱ればいいのか。それとも何か違うことをすればいいのか混乱する」

という状態になってしまう。支援会議は、保護者と学校が同じスタンスで支援を再確認する会議である。「学校職員には非がない」と言わんばかりの会議にしてほしくはない。

こんな支援会議をしては駄目！ その2　NGワードだらけの支援会議

私はセミナーなどで、支援会議では言ってはいけないNGワードがあると伝え続けている。

ある支援会議では年配の先生がこれを連発し、保護者が憤怒する場に遭遇した。

なるべく言わないように配慮したい。左記のようなNGワードである。

「何を考えているのか分かりません」

「普通の子供と比べると……」

「異常だとしか思えません」

「普通はそんなことはしません」

「周りの子供に迷惑を掛けています」

「おうちで寂しい思いをしているんじゃないでしょうか」

「怒鳴りつけてやりました」

「暴力的でどうしようもありません」

「薬を増やしてもらえませんか？」

などなど。こちらとしては学校の状況を伝えているつもりでも、保護者はそう捉えないことが多い。

こんな支援会議をしては駄目！ その3　支援方針が明確にならない支援会議

一時間～二時間も支援会議をする。互いに困っていることを出し合う。

しかし、「具体的にどのような支援を展開していくのか」が決まっていない。最後は教頭からの「しっかりと様子を見守っていきましょう」で終わってしまう。

これでは支援会議を開催した意味がない。次号より具体的な支援会議の展開を示す。

小野が答える 「この学習困難場面」での合理的配慮はこれだ

長文の読み取りの困難性と対応

読み取りが苦手な原因をアセスメント※1することから対応が始まる。しかし、問題の根本は「対応」ではなく、「教材・教具」とシステムの有無の問題である。

岡山県岡山市立西小学校　小野 隆行（おの たかゆき）

1 原因をアセスメントする

長文の読み取りができないというのは大雑把な解釈なので、アセスメントが必要だ。

まず、何が原因なのかを見付けることから始める。

①漢字が読めない。
②言葉をしばしば読み間違える。行を読み飛ばす。
③音読はできるが内容の理解ができない。
④テストなどの問題に答えることができない。

④の困難性に対しては、優れた国語の実践が多くあるので、ここでは省略する。

特に、次の二つの指導は、特別支援の観点から考えても非常に効果が高い。

向山洋一氏の「一字読解」の指導。椿原氏の「B問題」の指導（今後は「構造読み」の指導）。

2 漢字が読めない子への対応

このタイプの子には、ルビを振る支援を行う。

しかし、この作業は、学年が上がればかなり大変になる。

文章量もかなり増えるので、全てにルビを振ろうと思うと、一時間以上掛かることもある。

これが、タブレットなどで使えるICT教材であれば、一括変換が可能になる。

また、ルビを振るだけでなくできれば実際に読んでルビを振らせたい。

ルビを先に振ると、子供はルビしか読まないからである。

これもICT教材であれば、読み上げ機能を付けることは簡単にできる。

3 読み間違いの子への対応

このタイプの子は、ディスレクシア※2が疑われる。したがって、音読が苦手な子に対する対応をまず考える必要がある。それについては、以前に『トークライン』誌※3でも書いているので、詳細はここでは省く。

やはり、ディスレクシアの子には、長文をいきなり読ませるのではなく、教師が代わりに読んで聞かせるようにしたい。

もちろん、読み上げ機能が付いたICT教材を使うことは効果的である。

4 内容理解が難しい

音読は何とかできる。しかし、内容読解が難しい子がいる。そういう子には、そもそもその教材がその子のレディネスに合っていないと判断した方がよい。

アメリカ視察で、その子に合ったレベルの本を読むシステムを見た。どこの地域に行っても、そのシステムは当たり前のように行われていた。

考えてみれば、子供によって読解のレベルに差があるのは当たり前だ。

要は、日本に、「教材・教具」と「システム」がないだけなのだ。そのことによって、困難さのある子が苦しんでいることが分かるであろう。

※1 個人の状態像（自覚症状や表情、言動からの判断）を理解し、必要な支援を考えたり、将来の行動を予測したり、支援の成果を調べたりすること。

※2 読み書き障害。

※3 二〇一九年四月号。

プロが教える 教室でできる 不登校支援

不登校の年齢による違い② 小学校高学年～中学生の不登校

中学入学という環境変化をきっかけに不登校は急増する。

小児心療科 医師 小柳（こやなぎ） 憲司（けんし）

小柳 憲司
長崎県立こども医療福祉センター副所長
長崎大学医学部・教育学部非常勤講師
長崎医療技術専門学校非常勤講師

1 中学進学と不登校

不登校が増えるのは、小学校高学年以上であり、特に中学生になると不登校は急増する。中学校では学校の雰囲気も学習のスピードも大きく変わる。環境変化に付いていけず、夏休みの課題が終わらないまま二学期から学校に行かなくなったり、部活動がきつすぎて体調を崩し、そのまま行かなくなったりなど、様々なことがきっかけとなる。しかし、そこには多くの背景となる問題が関わっている。

2 中学生の不登校に関わる要因

(1) 学習の問題

小学校高学年になると、学習内容が高度になり、理解できなくなることから行き渋りが生じる場合がある。能力的にやや厳しく、知的に境界域あるいは軽度障害域と考えられる子供や、それに注意欠如・多動症を伴う子供、学習習慣が全く身に付いていない子供が何らかの理由で学校を数日休むと、中学校の授業に全く付いていけなくなり、学校に行く気を失ってしまう。

(2) 体調の変化

思春期に掛かるこの時期は、体の変化に伴う自律神経の機能不全（起立性調節障害など）が生じやすく、そのような体調の悪化が不登校に関連することは多い。体調不良を押して登校しても、その状態を先生に理解してもらえないと「だらだらするな」と叱責され、具合が悪くて保健室にいると「早く教室に戻れ」と言われる。そのような状況では学校に行こうという気力が失われてしまう。学校に行っても以前のように友達と元気に関われず、対人関係でも自信を失ってしまう。

(3) 友達関係

いじめを含む友達とのトラブルはこの時期の不登校に関連しやすい。思春期は誰もが友達を欲し、友達との関係を通じて自分自身を見詰めていく時期だからである。基本的な安心感・自己肯定感が不足している子供は、自分の存在意義を確かめるために、より特定の友達と密着し、他児を排斥して無視したり悪口を言ったりするようになる。おとなしい子供、目立つ子供、ちょっと変わっている子供はそのような標的となりやすく、傷ついて対人関係に自信を失い、不登校となることがある。また、自閉スペクトラム症などの発達特性のある子供はそもそも友達関係を形成することが難しいため、孤立することから不登校に陥りやすい。

中学生は不登校が急増する時期であり、そこには様々な要因が関係している。それぞれの子供が抱える困難さをいかに周囲の大人が理解し、対応していくかが課題となる。

教師が取り組む
教育実践の
「エビデンス」

書字障害への効果的対応を学ぶ

教師ができる支援方法は、まだまだたくさんあることを海外論文で知る。

静岡県静岡市立西豊田小学校　手塚 美和

1　書字障害が改善されていない

毎年、書字障害と診断されている子と出会う。その子たちに、学校でできる対応が不足している。学校では、通常次のような対応が取られている。①ノートのマスを大きくする。②書きやすい筆記用具に替える。③個別対応で集中を促す。④補助線を引く。⑤赤鉛筆で薄く書く。⑥ＤＡＩＳＹ※を使う（書字だけでなく読字も苦手さが見られる場合）。⑦ビジョントレーニングを行う。⑧パソコンを使う。など。⑥⑦⑧は実際にはあまり見られない。そして、こうした対応で大きく改善された事例はほとんどない。

一番改善が見られたのは、医師による投薬である。この場合、書字障害が改善されたのではない。薬によって児童が集中できるようになったために、書く文字が変わってきたということだ。

※Digital Accessible Information System（アクセシブルな情報システム）の略。障害などで本を読めない人のための「音声録音図書」の国際標準。

2　書字障害に効果がある指導

「Dysgraphia:How It Affects A Student's Performance and What Can Be Done About It」

この中で引用されていた文献が参考になった。例えば、ディスグラフィア（書字障害）には四つの種類があるという。

(1)音韻的ディスグラフィア
音で文字を認識できない。見た目に頼って書こうとする。

(2)表面的ディスグラフィア
単語を正しい形で書けない。音による手掛かりに過度に依存する。

(3)混合的ディスグラフィア

(4)意味論的／統語論的ディスグラフィア
どうやって単語をくっつけて完全な文を作るのかが分からない。

このような種類に分析する視点を私はもっていなかった。

あるいは次の文献である。ディスグラフィアの生徒の手書きを助けるためには次の活動が効果的だという。

1　両手をこすり合わせる
2　テニスボールを握る
3　カーペットの上で円を描くように手を擦る
4　ウィッキスティックスで遊ぶ
5　小さなレゴブロックで何か作る
6　小さなビーズにひもを通す
7　粘土を指の間で転がす
8　鉛筆で上下のフィンガーウォーク（Keller, 2001, p.11）

教師ができる支援は、たくさんあるのだ。海外文献からも学ぶ必要がある。

ゼロから始める
プログラミング
教育

「スクラッチJr.」でプログラミング体験

三年生「総合」プログラミングで地域の良さを発表しよう。

北海道斜里町立斜里小学校　塩谷 直大

「スクラッチJr.」というタブレット専用のプログラミングアプリがある。アンドロイドとアイパッドのどちらでも無料でインストールできるアプリだ。プログラミングツールである「スクラッチ」が八歳以上を対象にしているのに対して、「スクラッチJr.」は更に低年齢の子供を対象にしている。文字が読めなくてもプログラミングできるように設計されている。「命令ブロック」を組み合わせてキャラクターや自分の描いた絵を自由に動かすことができる。私はこのアプリを使って低学年で実践したが、すぐに使い方を理解して、楽しいアニメーションを作成できた（基本的な使い方を教えるコンテンツを作成した。デジタル・トークラインで紹介している）。

この機能を利用し、三年生の総合的な学習の時間「地域の良さを調べて、発表しよう」という単元でプログラミング教育を行った。

次の準備が必要だ。まず事前に二時間「スクラッチJr.」に触れさせ、使い方を理解させる授業を行った。また地域を実際に見学する学習をしておき、タブレットで「紹介したい場所の写真」を撮影させた。授業では次のように進める。

指示1　紹介したい場所の写真を選びなさい。

指示2　その写真をスクラッチの「景色ボタン」で選びなさい。

指示3　その場所を紹介するアニメーションを作ります。自分でイラストやセリフをプログラミングしてごらんなさい。

上のような楽しいアニメーションを作成することができた。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!

パイナップルの地図記号は「畑」か「果樹園」か？

神奈川県厚木市立依知小学校　篠崎 栄太

TOSSサークルに入って二年がたった頃、第三十回日本教育技術学会玉川大学大会に参加した。赤阪勝氏の模擬授業を教室で追試するため、夢中でコンテンツを作ったことを思い出す。

1　赤坂勝氏の模擬授業

パイナップルは、どのように実がなるのか。

赤阪氏の模擬授業では、様々な土地の地図記号が扱われた。「TOSSメモ」を活用し、「畑」で育つものと「果樹園」で育つものとを分類するところから始まった。

その土地がどのように利用されているかによって、地図記号は決まる。

「何々であれば畑である」「何々であれば果樹園である」と仮説を立て、討論への布石となったのが次の発問である。

では、パイナップルを作っているのは畑と果樹園のどちらですか。

これを知るための方法は地図を調べること以外にもある。パイナップルはどのように実がなるのかを調べるのである。

2　授業参観で追試

「これを教室で追試したい」と即座に思い立った。当時五年生の担任だった私は、次のように授業を組み立てた。

①六大陸、三海洋のフラッシュカード
②地図帳地名探しクイズ
③地図記号のフラッシュカード
④パイナップルの地図記号

パイナップルの地図記号は「畑」か「果樹園」かという疑問に、教室は盛り上がった。まずは実のなり方を予想させた。木になると言う子や、地面から生えていると言う子、様々であった。下の写真のような実のなり方を知っても、まだ決められない。

(1)畑の場合は一年間で育つが、果樹園は数年かかる。

パイナップルは二年から三年かかる。

(2)畑は一回しか採れないが、果樹園は何回でも採れる。

パイナップルは一～二回採ることができる。どちらとも決められないため、パイナップルの地図記号は新しく作られたのである。その記号も予想させた。答えを発表するとき、子供たちは前のめりだった。保護者からも好評の授業となった。

向山洋一が学んだこの1冊！

授業力向上に役立つこの1冊

向山洋一氏の生活指導論と生活綴り方

京浜教育サークルの源流は北方性教育との対峙にあった。

東京都台東区立大正小学校
法則化浅草サークル
板倉 弘幸

『作文・綴り方教育史資料　上・下』
（野地潤家編　桜楓社）

1「京浜教育」の由来

京浜教育とは北方教育に対峙する言葉であり、そこには向山氏の相手への大いなる畏敬の念が込められていた。

厳しい東北の地で教育に奮闘していた教師の存在を向山氏は知り、大変に驚き、かつ、自分たちもそのような厳しい環境に決して負けない教育に取り組もうという大望を抱き、名称を京浜教育と定めた。

北方教育の偉大な先達の代表が鈴木道太氏、村山俊太郎氏、国分一太郎氏であった。

厳しい東北の様子をたまたまマンガ本で知った。浅田次郎（原作）、ながやす巧（漫画）の劇画「壬生義士伝」である。第八巻では、主人公の吉村貫一郎が、故郷の南部盛岡藩の思い出を切々と語る場面が続いた。中に驚くべき場面があった。貫一郎の妻が三人目の子を身ごもるが、あまりの貧困さに自身とお腹の子を凍てつく湖水中に身を投げんとしたところである。口減らしのためである。ひどい飢饉の年には、農民は、共食いをして冬を越すこともあったという。

2　北方性とその指導理論

さらには、北日本国語教育連盟の文章に出会った（作文・綴り方教育史資料）。

◆意欲的な生活行動は、全身を傾けた仕事を働くことによって、生き、闘う生活の最中から学び取りたい。そうした実践は北方の生活性、意欲性高揚のために、正しく厳しい認識を与える唯一のものである。だが、私たちは個人としての人間性がまことに弱く、身勝手で、陥没しやすいものであることを永い歴史の試練の中に、また私たち自身の実践の中に自己批判できる。それゆえ、どうしても協働によってさらにそれを強化することによって、正しい実践を刈り取ろうとした。

北方教師は、教育を一つの文化運動として集団のもつ組織性を獲得しなければならなかったという。気候や風土、産業からあらゆる面で厳しい現実が東北六県には存在した。最高の収入源は出稼ぎであった。幾世紀もの苦難の歴史はまず肉体や経済に、そして思想に現れた。しかし、当時の大衆はあまりにも知性を欠き、これを乗り越えられなかったという。

そこで、北方教師が目指したのは子供たちに厳しい生活の現実（生活台）を分からせ、変革していく意欲をもたせ、それが生活的知性・技術となっていくことであった。この北方性、意欲性、生活的知性が北方教師の合言葉であったという。もとより、カントのように体系付けたものではないが、現実を直視することにより導かれる肉体の志向性を正しい協働の鞭で打ち、鍛え、組織し、再編成しようとするのである。それがために、私たちの教育は、自己自身に向かって当てられる鞭ともなると主張した。

まさに向山氏の学級通信「スナイパー」に込められた教育的意義（標的は自身と教育実践全てであり、自分の弱さを射続けることこそ、自ら課した責務）を、北方性教育にも見出すことができた。◆

授業のベーシックスキル

授業のベーシックスキル6「授業での対応・応答」㉒

子供の間違いに「デタラメ」はない。子供なりのロジックがある。それを見抜き、心から驚き、そしてどの子にも分かるようにその場で意味付ける。

東京都・玉川大学教職大学院 教授
谷（たに） 和樹（かずき）

1 「強いて」の漢字の間違いへの対応

この「しいて」を漢字に直しなさい。

子供たちが書き始めた。元気のよいクラスだ。にぎやかに「分かったー！」などと叫んでいる子もいる。

「書けた人は、ノートを見せに来なさい」

私が指示すると、子供たちが我先に持って来た。

一人目。「正解！」

二人目。「おしい！　超おしい。九九点」（送り仮名のミス）

三人目。「正解！」

四人目。「正解！」

五人目。「おしい！　似てる！」（漢字のミス）

そして、六人目である。

その女の子はこう書いていた。

心意て

あなたなら、その子にどのように声を掛けるだろうか。

2 心からびっくりしてあげること

教師の仕事は驚くことだ。

向山氏にそう教えられてきた。

子供の、かすかな、かすかな変化。一見、何の意味もないように見える言葉。

そうしたことに意味付けすること。心からびっくりしてあげること。

教師の重要な資質だと思う。

彼女のノートを見た私は、次のように反応した。全てその場で自然に出てきたものだ。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

一瞬ノートを見て……、

「ああー、なるほどー……」

しばらく（たぶん二～三秒）ノートを見た。それから彼女の顔を見た。

「これ、考えたの？　自分で？」

「天才だね」

更にこう言った。

これを正解にしようかな。

ほかの子に向かって、

「これ、間違っていますけどね」

「間違っているけど、これ、いい答えだねぇ～」

「ちょっと、これ、いいので、本当は間違っているんだよ。だけど、これは花丸あげる」

その子はニコニコしながら席に戻った。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

これで終わらない。

ノートチェックを終え、私は「心意て」をわざわざ板書した。

先生が感動した答えです。

板書し、振り返って、

「これ、すごくないですか？」

と子供たちに言った。

「おぉー」

という声があがった。

「これは、『心で』『意識して』という意味ですよね」

ここまで意味付けてこそ、こうした対応が生きるのだ。

伴一孝の教師道

その場で授業の「代案」をやってみせる

ある県の学校で不祥事が連続発生した。五件である。わいせつ行為に飲酒運転。県の教育長は連続して通達を出した。そんなことで事が収まるならば、楽なものだ。問題の根源を断たなければ、不祥事は必ず再発する。根源とは何か。教師のストレスである。現場に居れば分かる。神戸の教師間いじめが問題になったが、ほかの県でも聞いた。ある学校で新卒の女性教師を柔道経験者の先輩男性教師が宴席（座敷）で「締め」ていた。周りは笑って見ていたらしい。異常だ。

長崎県長与町立長与小学校　伴（ばん）一孝（かずたか）

広島の「向山型国語教え方教室」で代案模擬授業を行った。尾崎放哉の俳句。

紅葉あかるく手紙よむによし

二名の授業者が一分間ずつ授業した後、私がコメントと代案授業をする。無論、準備はしていない。その場で考える。

一人目の授業者の発問。

手紙は最近もらったのか、昔もらったのか。

これはこれで面白い。場面が目に浮かんでくる発問だ。

二人目の授業者の発問。

話者は手紙を読んでいないのか。

これも面白い。「読んでいない」とする場合の解釈を詳しく聞いてみたい。それぞれ持ち時間一分なので、発問は一つしか打てない。これが核心だということだろう。

私はコメントと代案授業で十分もらっていた。二つは発問を打てる。一つ目。

「紅葉」と「手紙」だけ漢字で表した理由は何ですか。

近くの人と話し合わせる。優れている と思った意見を紹介させる。「紅葉と手を掛けている」が出た。大人なら分かる。会場が一気に湧いた。二つ目。

「よし」を漢字で書きなさい。

ここはあおりが必要だ。「それだけですか」「まだありますよ」と声を掛けていくと、次々出てくる。

①紅葉あかるく手紙よむに佳し
②紅葉あかるく手紙よむに良し
③紅葉あかるく手紙よむに好し
④紅葉あかるく手紙よむに善し
⑤紅葉あかるく手紙よむに吉
⑥その他

それぞれニュアンスが違う。よって放哉は「よし」と平仮名表記したのだ。

授業は楽しい。知的であることが第一だ。励む。

長谷川博之の
圧倒的実践日誌

委嘱研究発表会にTOSSの主張を ビルトインする

自らが良いと確信するものを足元から広げる。誰に遠慮することもない。これができなければ運動は担えない。

埼玉県熊谷市立奈良中学校　長谷川（はせがわ）博之（ひろゆき）

この秋、熊谷市教育委員会委嘱の研究発表会を開催する。二年越しの研究である。教務主任兼研究主任として計画立案、提案、研修運営、研究推進などを担ってきた。全六ページの研究紀要も独りで作成した。

研究主題は、「『主体的・対話的で深い学び』を保証する授業の具現化」である。

発表会当日は全学級で授業を公開する。異例である。全体会でプレゼンをする私もまた授業する。これも異例である。既成概念を打破するのが研究だ。「授業で主張する」を合言葉に、職員一同努力を積み重ねている。

さて、紀要の二ページ目で「授業改善・指導法の工夫」を取り上げ、次の文章を掲載した。

「『主体的・対話的で深い学び』を保証する授業」（以下ＡＬ）は高い峰のようなイメージがある。公的な研修の場でも指摘されるようになったが、何も新しい授業形態をつくれ、という話ではないようだ。20年30年前の実践にも、ＡＬを実現しているものが数多く存在する。たとえば、有田和正氏の「郵便ポスト」の授業や「バスの運転手」の授業。野口芳宏氏の「やまなし」の討論と評論文。築地久子氏の討論の授業や大村はま氏の単元学習もまた然り。理科の「仮説実験授業」や小森栄治氏の「理科は感動だ」の授業群もまさにＡＬである。

質の高い授業を実現するにはもちろん高い技量が必要だ。それら高い技量にも、土台があるはずである。確かな土台があって柱が立ち、立派な屋根が葺かれる。土台となる技術について職員と共有したものが以下である。（以下略）

私がＴＯＳＳのメンバーであることは誰もが知っている。足を引っ張ろうとする輩も昔からいる。それでも「良いものは良い」である。良いと信じるものこそ足元から広げる。これが運動である。

私が
読み落としていた
向山洋一の
この文章

マニアック編

教育的な赤鉛筆の闘いをしていますか？

赤鉛筆を使っての闘いは、向山洋一氏の最後の語りまで追試してこそ「教育的」である。最後の語りを危うく忘れそうになって流れた「脂汗」で実感した。

前・東京都公立小学校教諭
TOSS東京教え方研究会
門間（もんま）政博（まさひろ）

「危ないところだった……」

職員室へ戻る階段の途中で「脂汗」が流れた。

荒れの中心であったＫ君との対決を終えた後の「語り」を言い忘れそうになったからだ。

二学期末に崩壊していた学級を三学期に担任をしたときのこと。出会いの日。

「授業では赤鉛筆を使います」と全員に宣言した。

崩壊した学級である。趣意説明が大切だ。新しい規則を作るからである。次のことを伝えた。

「ボールペンを使っていると教科書やノートが汚くなりやすいのです。みんなもこうしたことを今までに一回くらいは経験したことがあるでしょ？」

「一回くらい」をやや強めに言った。翌日に授業で赤鉛筆を使うことを伝え、連絡帳に書かせ、全員が書いたことをチェックし、下校させた。

二日目。

「赤鉛筆を忘れた人？」

と聞き、挙手をさせた。十二名中九名が忘れた。

「先生が貸します。借りにいらっしゃい」

と言って貸し出した。

三日目。二日目同様に聞いた。三名が忘れた。やや強い口調で言って貸し出した。

「大切なお勉強に使う赤鉛筆です。もし、明日も忘れたら、おうちの人にお話しします」

対決の日となった四日目。

Ｋ君だけが忘れた。

Ｋ君を立たせて言った。

「Ｋ君、あなたは三日連続して忘れている。みんなに聞いてみる。**三日間のうち一日でも赤鉛筆を持って来た人は手を挙げてごらん**」

Ｋ君以外の全員が手を挙げた。そして、向山氏の語りで「詰め」た。

> ほら、みんな持って来ている。君だけが三回連続して忘れている。黙っていられないから、ちゃんと電話するよ。
>
> （『向山洋一発・学級づくり―集団への対応ＱＡ事典』向山洋一著　明治図書　一一六ページ）

Ｋ君はうつむいて席に戻った。

ここで私は油断した。「Ｋ君に勝った」と思ったからだ。

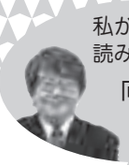
このままでＫ君との対決を終えようとしたとき、向山氏の次の語りを思い出したのである。

> 授業を続けて、五分後くらい。「さっきのことだけども、もし今度持って来るって言うんならば、一回だけは先生電話しなくてもいいや。どうします、あなた」
>
> （前掲書　同ページ）

この語りこそが大切なのである。なぜか？　向山氏は述べる。

> 「追いつめる」と言っても、むろん「教育的」なものだ。「追いつめられた子」を、反省した子を、救ってやることはむろん重要である。
>
> （『新版　いじめの講座を破壊する法則』向山洋一著　学芸みらい社　四一ページ）

赤鉛筆での闘いでは向山氏の最後の語りが重要だ。「追いつめられた子」を救っているからだ。



私が読み落としていた向山洋一のこの文章

高段者編

崩れゆく完全犯罪2

大学の自然教育専門の教授から、「みすぼらしい」とやゆされた子供たちの原稿は、例外を隠した専門家のタワゴトだった。あらゆることに熟知している向山洋一氏の「知は力なり」を示した痛快な論争である。

栃木県真岡市立真岡東小学校　松崎（まつざき）　力（つとむ）

1　改ざんされた一文

斎藤喜博が「森の出口」で授業をした記録には、「島村と隣の村との境界に橋がある。橋の出はずれに行ったとき。出口へ来たというのだろうか。それとも、近くに橋が見えてきたとき、出口へ来たというのだろうか。」という文章がある。

向山洋一氏は、学級の子供たちに、原稿用紙を配り、

「近くに橋が見えてきた」という文を分析しなさい。

とだけ指示して、三十分検討させた。

その結果、N・H君は、「『近くに橋が見えてきた』という文は、『遠近感デタラメ文』だ」と酷評し、S・Yさんは「『見えてきた』と書きたいのだったら、初めの言葉は、『近くに』ではなく、『遠くに橋が』とか『向こうに橋が』でなくてはいけない」と指摘している。

実は、S・Yさんの指摘しているように、『未来誕生』誌の中では「遠くの橋が見えてきたとき」と書いていたのだ。

ところが、その後出された『授業』誌の中では「近くに橋が見えてきたとき」と改ざんしていたのだ。

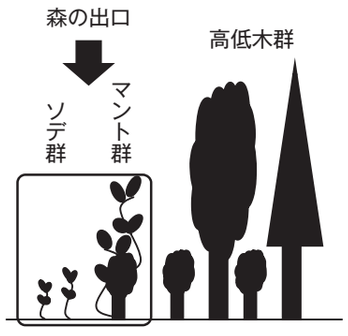
どうして、向山氏は、斎藤喜博の僅かな一文が、改ざんされたものだということに気が付いたのだろうか。

2　森の出口は線か帯か？

向山学級の子供たちは、森の出口を「線」と表現した。

それに対して、宮城教育大学の高橋金三郎氏は、「みすぼらしい」と批判した。「『森の出口に広がりがない』などとは、自然を知らぬ教育研究者のタワゴトである」とまで言いのける。

森の構造は、左の図になる。



これに当てはめれば、森の出口はマント群とソデ群という範囲があり、高橋氏は「広い帯のように取り巻き」、さらに「ときには数メートルから数十メートルの厚さ」になるという。

だが、全てがそうなるわけではない。これにも、例外があるのだ。

向山氏は、そのことを知っていたのだ。

若き向山氏は、京浜教育サークルを主宰していた。そこで研究されたのが、自然地理教育である。題材となった本は、宮脇昭氏の『植物と人間』（ＮＨＫ出版）である。

従来の森の構造であれば、幅のある森の出口になるが、宮脇氏は「ある条件」があると、マント群落は、幅がなくなり「線状」に配列するという。

向山学級の子供が、森の出口を「線」と表現したのは、このことからである。その「条件」とは何か。

次回で解明する。

高段者が答える「私が困っていること Q&A」

担任を馬鹿にする子供への対処法

授業が安定すれば解決する。
授業で統率するのである。

回答
岡山県岡山市立西小学校　小野（おの）　隆行（たかゆき）

Q

六年担任です。十一月頃から担任を馬鹿にする仕草や言動が見られ始めました。

そのたびに、注意をしたり話を聞いたりしていますが、一向によくなりません。

子供たちの私に対する信頼を再構築するためにまず何を行っていけばよいでしょうか？

A

授業しかない

高学年担任で、クラスを統率しようと思うのなら、次の二つは絶対の条件です。

①授業で統率する。
②こびを売らない。

授業は、システムになっているでしょうか。

チャイムが鳴ったら何から始めるのか。終わったら何をするのか。それがシステムです。

次に、システムが機能的に動くことが重要です。

授業の最初に、「あかねこ漢字スキル」（光村教育図書）を行うと決めていても、実際にすぐに始めていないことが多いです。

それをそのままにしていると、教室は崩れていきます。頑張った人が得をする仕組みが必要です。

そこで、時間がきたら途中でもやめさせます。残りは、休み時間や授業の隙間時間にやらせます。

こうすれば、授業の初めの活動に遅れる子が少なくなります。

しかし、それだけでは安定しません。時々、チェックが必要です。帰る前に、全員の「あかねこ漢字スキル」をチェックするのです。できている人からさようならというようにやれば、ごまかす子が減ります。

これを直接注意していると、関係は悪化します。チェックすることで、行動を変化させます。

二つ目は、こびを売らないということです。言い換えれば、遠慮をしないということです。

良い雰囲気を作るために、注意をやめようとしたり、面白いことを言おうとしたりするのは、一番いけない行為です。雰囲気がよくなくても構いません。授業が安定すれば解決していきます。

イラスト：ナカジマ ヤヨイ

となりの座席の女発
女社長奮戦記

TOSSは――T（楽しい）O（おいしい）S（最高）S（スペシャル）

向山塾名古屋、翌週もバスで
名古屋から伊勢神宮へ、そして京都。

株式会社 騒人社　師尾（もろお） 喜代子（きよこ）

私は向山先生と出会い、「論」の形を取り入れることで、自分の授業が激変した。子たちは熱中し、授業に活気出て、知的になった。

向山塾でのテーマは「論」とした。様々な場面から討論へと展開していくとこを、向山先生に授業形式やっていただこうと考えてる。

名古屋では、資料の読みりから討論への道筋を示し向山先生からの貴重な言は「書くこと」の大切さだっ「考えるから書くのではなんだよ。書くから考えるのよ」と言われた。

1　隣の人と話し合ってごんなさい。

2　分かったこと、思ったと、気が付いたことをノートに書きなさい。

3　数が少ない人から発表なさい。

向山先生から討論させるでの指示の意味を丁寧に聞き、講座の中で、演習形式で参加者に伝えるよう講座を組み立てた。

1　向山塾ＩＮ名古屋

久しぶりに向山塾で、向山先生と一緒に講座の時間を得た。

「帰って来ちゃいました」と言ったら、たくさんの拍手をもらい、その気になった。

向山先生と講座の進行について昼食を食べながら相談し、大切なことはコンテンツに入れておくことにした。

2　伊勢から京都へ

向山先生、中央事務局と一緒に、十一月二日・三日の日程で伊勢神宮と京都に出掛けた。

御朱印帳を見ると、二〇一七年四月十五日に参拝したことが記されていた。伊藤道海先生はじめ、様々な方のお力添えで、内宮の「天照大神様」のすぐそばまで行き、特別拝観をさせていただいた。そのときの霊験あらたかな気持ちは今も残っている。

今年は、外宮を参拝した。正式には、外宮から内宮の順に参拝するのがよいということだった。再び訪れることを想定していなかったので、この順になってしまった。伊勢神宮は内宮、外宮合わせると年間八百万人訪れるという。日本人の伊勢への憧れは、この数からも分かる。

「天照大神様とお伊勢参り」は授業技量検定で教材研究をしたことがあり、格別の思いがあった。

神楽殿で雅楽と舞の奉納があった。科学技術が進む現代、昔からの伝統を守るため修業に励む人々がいることに気付かされた。

京都の夜は新三浦で水炊き、翌日は三十三間堂に行き、すぐ近くのわらじやで、うぞうすいを味わった。

次の夢へ向かって
～アニャンゴ発、日本の子供たちへのメッセージ

オクム師匠の教え㉒

たった一人のヨーロッパツアー。
全て一人で解決しなければならない。

世界初女性
ニャティティ奏者
アニャンゴこと　向山（むこうやま） 恵理子（えりこ）

Anyango!! Nyatiti Diva

今回のツアーで私のマネージャー役をしてくれるアミナは、ケニア系フランス人の親友。

しかも私の最初のスワヒリ語の先生で、東京での生活も長かったから日本語もぺらぺらだ。

パリのアミナの家に一泊し、翌朝、ストラスブールに向けて出発する。

たった一人のヨーロッパアーは、今回が初めてだっ楽器のさばきや機材のさき、トラブルへの対応や安確保、初めて会う現場スタフとのコミュニケーショ……。

これらを全て一人で解決なければならない。その上次の仕事や次のツアーにつがるように「結果」を出しこなければならない。

今回のツアーでは、現地ミュージシャンとともにトオを結成することになってた。

ところが、主催者に何メールを送っても、一向にの二人のミュージシャンの報や名前すらあがってこな一体どれくらいリハーサル時間が取れるのかも分からい。

音源を送るものの、それ向こうのミュージシャンにいたかも分からない。何もからないまま、ストラスブルに乗り込むしかなかった。

パリから電車で約二時間、ストラスブールに到着。ドイツとフランスの文化が混ざった美しい街だ。

フェスティバルで共演するパーカッショニストとベーシストとも初顔合わせする。

事前の連絡はなかったけれど、きちんと現地のミュージシャンが来てくれるということで、まずは一安心。ところが、その顔ぶれを見てビックリしてしまった。

パーカッショニストのボニ・ニャオレは、ワールドミュージックシーンで最も注目されているコートジボワールの歌姫、ドベ・ニャオレのお父様で、来日公演もしたことがある。

ベーシストのリヴァはそのドベ・ニャオレの元バンドメンバーで、マダガスカルの大スター、ロッシーのベーシストでもある。

しかも、フェスティバルの会場は、ヨーロッパが誇る偉大なジブシー・ジャズミュージシャンであるジャンゴ・ラインハルトのメモリアルホール。

出演者は、アフリカ系のミュージシャンばかり。ここはアフリカかと思えるほどである。

（ケニア・アレゴ村にて）

向山洋一の
日常から学ぶ仕事術

他人への思いやり以上のことが向山先生の行動には隠れている

江戸っ子の粋なのか、男の美学なのか。

NPO TOSS 美崎 眞弓

1 巧みな切り返し

毎月、東京教育技術研究所で「向山洋一直伝教材ユースウェアセミナー」が開かれている。セミナー後の懇親会は、旗の台の中華「鵬龍」。私の隣に座られた三重県の進士かおり先生に、旗の台から自宅まで掛かる時間をお尋ねした。

三時間半と聞き、僅か一時間のセミナーのために、平日に休みを取っての参加。その熱心さに驚いていたら、向山先生がこう言った。

「俺も（帰るまで）三時間半掛かる（笑）」

向山先生も、仲間と楽しく飲んで旗の台の自宅に帰り着くまで三時間半ということか。

相手に合わせた切り返しは、ユーモアがあって勉強になる。

2 粋でいなせ

もし、バニラアイスをオーダーしたのに抹茶アイスが出てきたら、あなたはどうしますか。熱々の熱かんを頼んだのに、ぬるかんが出てきたら、普通は差戻しでしょう。

ところが、向山先生は出されたものを受け入れる。文句も言わずに、ぬるかんが出たって「次は熱く」と言うだけだ。オーダーを間違えたのは相手のミスだから、当然黙っていられず間違えを指摘する私。しかし、向山先生は相手をとがめることはない。

文句を言うことは、みっともないのか、慎みなのか、相手への思いやりなのか。

それだけではない何かが、向山先生の行動の陰に隠れているような気がする。

これが江戸っ子の粋なのか、男の美学なのだろうか。

〈おまけ〉やっぱり電話美人？

向山先生の親友の尾木社長は、武蔵小杉で手広く不動産業を営んでいる。その尾木社長から電話がかかってきた。

「はい、TOSS事務局の美崎です」と名乗ったのに「美崎さん、お願いします」と言われた。

（えっ、本人なんだけど……）

と思いながらも「はい、美崎です」と、もう一度名乗る。すると、「何だ、声が若いからさあ、分からなかった」

黙っていられない私は、すかさず「声も」ときっちり訂正したが、はっきり言うよね～。まあ、師尾先生も私のことを電話美人と褒めてくれるし、お顔じゃなくても「若い」とか「美人」という言葉に弱い私でした。

今月の向山先生

11月の今月の一言「行事指導には幾多の学校でみがかれたシナリオがある」

9/15は向山先生の誕生日。研究所からのプレゼントは、膝掛けとスリッパ。

山谷えり子議員。滞在時間僅か15分のために中央事務局会議に来られた。

デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます！

脳科学と教育　第十回

「学びに向かう力」と「非認知能力」

麗澤大学大学院特任教授
モラロジー研究所教授
髙橋 史朗

一 「学びに向かう力」とは何か

我が国では、OECD（経済協力開発機構）のキーコンピテンシー（主要な資質・能力）と重なる「生きる力」を平成八年から教育理念として掲げてきた。そして、平成二十九年三月に告示された新学習指導要領において、育成を目指す資質・能力の三つの柱を次のように示した。

(1)知識及び技能が習得されるようにすること。

(2)思考力、判断力、表現力等を育成すること。

(3)学びに向かう力、人間性等を涵養（かんよう）すること。

学力の構造を根本的に見直し、「何を知っているか」から「何を理解しているのか」、「個別の知識・技能」から「生きて働く知識・技能」への転換に加えて、「学びに向かう力」という新たなキーワードが掲げられたことが注目される。教科等を横断する汎用的スキルには、認知的・社会的・情意的の三側面と「自己調整や内省などを可能にする」メタ認知※があるとし、教科等の本質を拠（よ）り所に、内容と資質・能力の調和的実現を目指している。この新たな視点から、「公共」「歴史総合」「理数探求」等の新科目が構想されるに至ったのだ。従来の「初めに教科ありき」ではなく、「内容」の修得自体が教育の最終目標ではないことを言明し、「子供の視点」に立って教育課程の在り方を見直した。さらに「何を学ぶのか」という教育内容論と「どのように学ぶのか」という教育方法論を、「何ができるようになるのか」という教育目的を実現するための手段として位置付ける構造に転換した点が注目される。

二〇〇七年の学校教育法の改正によって、従来の経験主義と系統主義の対立、学力論争における「ゆとり」か「詰め込み」かの二元論を超えて、知識を活用して課題を解決する汎用的な資質・能力が、学校教育が目指すべき学力であることが明確になった。知識の体系であった学習指導要領を資質・能力の体系へと進化させた契機になったのは、前回の学習指導要領改訂における、感性、情動の基盤である「言語活動の充実」であった。

では、「学びに向かう力」とは一体何か。それは自尊心・自己肯定感、自制心、自立心・自律性等の自己に関わること。

※自分自身の思考、行動、感情などを客観的に認識し、制御すること。

る力と「心の理解能力」、共感・思いやり、協調性、道徳性・規範意識等の社会性を中核とする「非認知能力」である。『ＯＥＣＤ保育白書』（ＯＥＣＤ編著　明石書店）は、生涯にわたる「well-being」（心と身体の健康及び幸福感）や社会的成功は、乳幼児期に「非認知」的な心の土台がしっかりと養われてこそ、長期的且つ持続的に可能になると強調した。「非認知能力」の中核は「自己と社会性」に関わる心であるが、二〇〇〇年に生まれた子供が二十一世紀にどのように生きていくかを追跡した縦断調査によって、愛着（アタッチメント）の剝奪が「非認知能力」の発達に深刻なダメージを与えることが明らかになった。

二　ヘックマン調査とマシュマロ・テスト

また、ノーベル賞を受賞したシカゴ大学のヘックマン教授が米ミシガン州ペリー小学校付属幼稚園で実施した調査によれば、就学前教育で「非認知能力」を育てた子供は、そうでない子供と比べて、四十歳時点で高校卒業率、収入や持ち家率が高く、離婚率、犯罪率、生活保護受給率が低いことが明らかになった。この結果を踏まえて、彼らは乳幼児期に「非認知能力」の土台を身に付けることの重要性を強調した。

さらに、四歳児の自制心について研究したウォルター・ミシェル スタンフォード大教授の「マシュマロ・テスト」によれば、マシュマロを皿の上に置いて、「一個すぐ食べてもいいけど、十五分待っていたら二個あげる」と伝えたところ、自制して二個食べた四歳児は三分の一にすぎず、四歳時に自制心（非認知能力）のある子は学校の成績や社会的成功との関連がＩＱ（認知能力）よりも強いことが明らかになった。大学進学適性試験（ＳＡＴ）のスコアが二四〇〇点満点中、平均で二一〇〇点高く、成人後の肥満指数も低く、危険な薬物に手を出さず、対人関係能力に優れており、自尊心も高かったのだ。四歳時点での自制心が大学入試の成績を左右したことは注目に値する。

保育指針と幼稚園教育要領も改訂され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の七～八割を「非認知能力」が占めるに至ったことも注目される。

一歳、一歳半の愛着経験と、三十二歳時の身体的健康の関係を調査した研究によれば、乳幼児期に安定した愛着が欠けていた人は、そうでない人に比べて四倍の身体症状を訴えていた。愛着という安心の基地、安全な避難場所という安心感を得た子供は自律性を獲得し、相手に同調して共感する「心の理解能力」「共感性、思いやり」も高まる。エリクソンによれば、「自分は他者から愛され、大切にされている」という基本的信頼感が、「非認知能力」の土台となり、他者に対する基本的信頼感の形成につながる。神経イメージング研究によって「共感能力」の脳科学的基盤が解明され、共感、感謝、思いやり、許し、幸福等の道徳的美徳・感性についての研究が進展し、一方で認知発達に関する研究が減少している。

こうした「非認知能力」を家庭で育てるための関わり方についての共通理解を深める必要があろう。

TOSS Teachers' Organization of Skill Sharing
最新セミナー情報
http://seminar.tos-land.net/

【お知らせ】
TOSSでは、このページでご紹介した以外にもたくさんのセミナーを全国で開催しています。
各セミナーの詳細・お申込みは「TOSS最新セミナー情報」へ！
県別・月別・キーワード検索ができます。

1月　TOSS掛川合宿2020

（TOSS中央事務局　手塚美和）

憧れの向山実践を追いかけるための“はじめの一歩”
～ドラマを次々と生み出す実力派教師が教える向山型指導法の基礎と応用～
【主催】NPO TOSS　【共催】TOSS中央事務局・青年事務局
【開催日時】2020年1月11日（土）～12日（日）
12時30分開会（受付開始は11時45分）12日（日）11時閉会
【開催場所】つま恋リゾート彩の郷
〈1日目〉
1．開会挨拶　TOSS代表　向山洋一氏
2．新指導要領&新教科書待ったなし！　2020 年代をリードする向山型指導法
3．2030 年「Society5.0」を見据えた最新教育課題への対応
⑴ STEAM教育　⑵ SDGs　⑶ 新時代の学びを支える先端技術活用推進方策
4．特別講演：この目で見た「兄貴」の実践のウラ側　向山行雄氏（敬愛大学教授・全国連合小学校長会顧問）
5．若手教師が生み出す圧倒的子どもの事実
6．向山氏の教育思想を詰め込んだおすすめ教材のドラマとユースウェア
7．高段者が指南！　向山型を目指すための「はじめの一歩」
8．TOSS 海外視察報告
9．１日目総括・ご挨拶　TOSS代表　向山洋一氏
１日目の講座終了後（課題別分科会・フリータイム・パーティー・全体プレスト）
〈2日目〉
1．目覚まし演習講座　（1）特別支援　（2）授業技量検定
2．次世代スターを目指せ！　公募模擬授業対決　20代・30代教師限定で公募
3．高段者の授業づくりの裏側大公開
4．向山型の継承 次世代トップスターの The 授業
5．総括講演　TOSS代表　向山洋一氏（予定）

全国のTOSSサークル紹介

http://circle.tos-land.net/

共に教育を語る仲間がいると、教師修業は何倍も楽しくなります！　授業の腕を上げたい先生、子供が熱中する授業をしたい先生は、ぜひTOSSサークルにご参加ください。

「将来出会う子供たちを幸せにする」教師を志す学生サークル和

東京都

教師のベーシックスキルを身に付けることを中心に、「将来出会う子供たちを幸せにする」という理念の下、活動している。週に一度、模擬授業や読み合わせを行う。授業力No.1決定戦、静岡大学「飛翔」との合同合宿、子供相手の無料塾など活動は多岐。顧問は谷和樹氏。月に一度の「谷先生例会」では、谷氏が学生の模擬授業に代案と実演を示してくれる。

玉川大学TOSS学生サークル和（なごみ）
東京都立川市立上砂川小学校
藤橋 研（ふじはし けん）
連絡先：fujihashi. ken@toss2.com

元気になるサークル！　TOSS Sunny!!

愛知県

「TOSS Sunny」は代表の井戸砂織氏が「英語の模擬授業をたくさんしたい」と思い、作ったサークルである。例会のメインは模擬授業。特に人気なのが瞬殺介入模擬授業。違いをその場で指摘され、すぐに修正して挑戦できるため、授業技量が劇的に向上する。懇親会は例会会場から車で１分のイタリアン。情報交換や読書会など、懇親会もたっぷりの学びである。

TOSS Sunny
愛知県名古屋市立東桜小学校
青木 翔平（あおき しょうへい）
連絡先：dancingbaby2@gmail.com

向山・谷日記

2019年10月

向山日記

十月一日㈫　夕方から学芸みらい社役員会。その後、学芸みらい社小島社長、正進社小林社長、師尾先生と「木曽路」で懇親会。

十月三日㈭　午前中、歯医者。午後、研究所で経営会議。恵理子たちと。

十月六日㈰　東京駅で道徳セミナー。講師は谷先生。その後雨宮先生たちと懇親会。

十月八日㈫　毎日新聞社知財ビジネス室の中村由紀人氏（元ＰＨＰ研究所）と品川「五十三次」で打ち合わせ。谷先生、師尾先生、雨宮先生、恵理子たちと。

十月九日㈬　原稿二本書く。

十月十日㈭　午後、研究所で経営会議。夕方から、中央事務局会議。参議院議員の山谷えり子先生と産経新聞社の慶田氏も参加。懇親会は「木曽路」。

十月十二日㈯　台風、自宅で読書。管理職サークル。

十月十五日㈫　聖路加病院で検査。青年事務局会議。

十月十七日㈭　午後、研究所で経営会議。恵理子たちと。夕方から、デジタルチームの作業。その後懇親会で合流。

十月十八日㈮　雨宮氏達と「木曽路」。

十月二十一日㈪　研究会。夕食、名取邸。

十月二十二日㈫　祝日。即位礼正殿の儀。第二ＴＯＳＳビルを引っ越すことになり、資料の整理。中央と青年事務局のメンバーで。懇親会は、中華「鵬龍」。

十月二十四日㈭　午後、研究所で経営会議。恵理子たちと。同時に三井住友銀行と打ち合わせ。その後、司法書士の先生と打ち合わせ。第二ＴＯＳＳビルでＳＤＧｓ対談が行われた。騒人社から出版される予定。

十月二十五日㈮　夕方から「木曽路」。千葉の並木校長先生も参加。

十月二十七日㈰　名古屋でエネルギーシンポジウムと向山・谷塾。参加者は百名。

十月二十八日㈪　「木曽路」にて、恵理子、美崎、雨宮、谷、師尾氏などと一献。

十月二十九日㈫　リハビリ。教材セミナー、第二ＴＯＳＳビル三時半～四時半。中華「鵬龍」にて懇親会。

十月三十日㈬　浅草で三人会。板倉先生、師尾先生と向山で。いつもの店。

十月三十一日㈭　午後、研究所で経営会議。恵理子たちと。師尾先生早く帰る。

谷日記

十月五日㈯　エネルギーセミナー広島。放射線医中川恵一先生の話が毎回衝撃。

十月六日㈰　東京で道徳セミナー。一年生の教科書を使った道徳授業が大好評。向山氏と師尾氏がサプライズ参加！

十月七日㈪　谷企画チーム会議。全部英語で、今回からは完全ペーパーレスに。

十月十日㈭　ＴＯＳＳ中央事務局会議。

十月十二日㈯　台風十九号のため佐賀セミナーをキャンセル。音楽セミナー中止。日本の災害が質的に変化している。

十月十七日㈭　デジタルチーム会議。スマホファーストの新ＴＯＳＳランドを年内公開。

十月十九日㈯　長野セミナー。五色百人一首の実演が大人気。北陸新幹線不通のため、特急の最終で一旦名古屋へ。

十月二十日㈰　石川セミナー。教科書を使った代案授業が好評。

十月二十四日㈭　騒人社でＳＤＧｓの対談を収録。関正雄先生はＳＤＧｓの専門家。経済広報センターの佐桑常務理事が絶妙の司会進行。

十月二十七日㈰　向山・谷塾名古屋。帰ってきた向山・師尾講座に一同感動！

地域と学校をつなぐ社会貢献教育 KC
教育コミュニティ
KYOUIKU COMMUNITY

全国で展開 TOSS Kids Schoolの全貌

（TOSS Kids School について）
おすすめです。生き方の幅が広がりますよ。

（2017年3月31日TOSS-SNS 師尾喜代子氏の「TOSS Kids School 説明会」というダイアリーに対するコメント）

教育コミュニティ WEB　1月号

CONTENTS

●教育コミュニティ１月号
【連載】
１．子育てQ&A……向山洋一氏・師尾喜代子氏（構成：佐藤あかね氏）
２．学校でのビジネスマナー……大場寿子氏
３．越智敏洋のNPO運営講座10……越智敏洋氏
【特別コンテンツ】
●子供が伸びる！　生きがいができる！　TOSS Kids School実践報告
・杉山裕之氏、高山佳己氏、星野裕二氏　続々開業TOSS Kids School
●TOSS Kids School　ギャラリー
・TOSS Kids School　子供たちの笑顔！
・TOSS Kids School　こんなところでやってます！
・TOSS Kids School　教材紹介

※編集部からのお知らせ
「教育コミュニティ WEB」では、全国で社会貢献活動をされている方々からの報告を募集いたします。「公序良俗に反しないもの」「社会貢献活動に関する内容」など、最低限の規準をクリアしたものは全て掲載いたします（謝礼は発生いたしません）。
字数は100字～ 1000字程度でご自由に。画像もOKです（著作権にはご配慮ください）。
<contact@tiotoss.jp>まで、件名に「教育コミュニティ投稿」と付けてお送りください。

■教育コミュニティ WEB　閲覧方法
①PC・スマートフォンでアクセス　http://kc.tiotoss.jp
②あとは見るだけ、読むだけ、掲示板に書き込むだけ！

『教育コミュニティ』誌とは、1994年に創刊された『ジュニア・ボランティア教育』誌を前身とし、2014年3月にリニューアル創刊した、教師の社会貢献活動を支える雑誌です。2019年4月号より、『教育トークライン』誌と合体し、ウェブ展開をスタートしました。

全国で展開する自立学習教室「TOSS Kids school」

幼児から中学生まで「学び方を身に付け、学力が伸びる」。

TOSS Kids 本部　稲田（いなだ）好子（よしこ）

1 全国へ

二〇一九年十月、TOSS Kids Schoolは、山口下関はやまスクールを本部として、フランチャイズ教室である福島大玉教室・福岡みやま教室・大阪日根野教室・静岡安西教室・浜松きらりタウン教室・清水オハナ教室・浜松中央教室・和歌山紀ノ川教室・広島宝町教室の十教室を開校している。来年度は東京でも開校することが決まっていて、現在準備中だ。

テキスト学習を終え、「マグネットひらがな表」でひらがなを学習する３歳の子供。

2 オリジナルテキスト

幼児から中学生までの子供たちが、都合のよい時間帯に教室にやって来て、それぞれの学習に集中して取り組む。テキストはTOSS Kidsオリジナルの「わくわくキッズ」「ぴかぴかキッズ」「ひらがな・カタカナエース」「かず・すうじエース」「漢字エース」「計算エース」「国語エース」がある。さらに、自立学習できるオリジナル教具も数多く準備している。

写真はM君の学習済のエース教材。

3 学び方を身に付ける

入会した当初は、子供の学力定着度に合わせてスタートする。最初は学年より前の内容から復習をする場合がほとんどだが、学び方をしっかり身に付けた子供たちは、「問題を解くぞ」というやる気と、「楽しいな、勉強が分かるぞ」という喜びとともに、学力をぐんぐん伸ばしていく。

現在小学五年生で、下関はやまスクールで三年間学習したM君は、十月から六年生内容の学習に進んでいる。入会した二年生のときには、学校の授業に付いていけず、スクールへも泣きながら、母親と一緒に来ていた子供だ。

小学三年生の二学期に入会したNちゃんは、国語に対する拒絶反応がすごかった。初回面談時に診断テストをしようにも、問題に向かうことも嫌がり、一問も手を付けなかった。

漢字は二年生の最初から復習することでスタート。国語のテキストも二年生レベルからやり直した。「自分はできない」という思い込みが激しかったので、最初の頃はとにかく褒めて褒めて褒めまくり、一緒に問題を解いた。「一〇〇点」を大きく書き、花丸を何回も付けた。これを繰り返して半年後の四年生の一学期。学校からの帰りにやって来た教室で、満面の笑みで、一〇〇点満点の国語のテストを見せてくれた（写真左）。「人生で初めて国語で一〇〇点を取った」と報告をしてくれた。

4 個別自立学習

TOSS Kidsには、ほかの塾から転入してくるお子さんもたくさんいる。その理由は「先生が教えてくれない」「内容に満足できない」などだ。TOSS Kidsでは、最初はほとんどマンツーマンで、先生と一緒に学習をする。名前の書き方、日にちの書き方、問題の読み方、答えの書き方、学習する手順、学習するテンポ。そして、現段階で何ができていないのか、どうやればできるようになるのかを導いていく。「子供が自立して学習することができるようになるまで、しっかりフォローすること」を大切にしている。一か月くらいして学習の手順やテンポが分かってくると、自然と自分で学習を始めるようになる。そうするとしめたもので、先生は見守りながら、必要なところだけをアシストでき、ほかの生徒の学習をフォローすることができる。こうして異学年の学習でも、たくさんの生徒がそれぞれの学習に集中するスクールが実現する。

5 スクールを開くには

TOSS Kids Schoolは、TOSSの先生方が退職後に教室を開く場合と、教員免許を持っていて、TOSS Kidsの規定の研修を受け、資格試験に合格して開く場合の二つのパターンがある（右下の写真の広島宝町教室は後者）。

教室のスタイルは様々で、開校する先生の要望やその地域性などを相談しながら、より良い状況で運営できるように、本部でしっかりサポートしていく。

フランチャイズ第二号の福岡みやま教室（左の写真）は、下川善史氏が退職され、二〇一七年に開校した。自宅の一室が教室となっている。現在は口コミで生徒数が増え続けている。

TOSS Kids Schoolは、基本的には、週二回、都合のよい曜日と時間で教室を開くことができる。塾経営は未経験でも、テキストや教具がそろっているので、何をしたらよいか困ることはない。

自分でスクールを運営し、子供たちの学力を伸ばすことに興味のある先生方、ぜひお問合せいただきたい。一緒にやりがいのある仕事に取り組みましょう。

〈TOSS Kids School お問合せ〉
https://www.tosskids.com

今月のデジタル・トークライン

※アクセス方法は表紙裏をご覧ください。

① 今月の 向山洋一教育語録（動画）

② お悩み解決！ 谷編集長の5min. アンサー（動画）

③ TOSS 教師に聞く！ Q&A「授業理論①」

④ 大成功の 絵画工作授業（本誌6・7ページ）

⑤ サークル紹介動画

⑥ 本誌掲載論文の 関連カラー画像

※このマークのあるページは、デジタル・トークラインに連動コンテンツがあります！

⑦ トークライン 本誌 PDF データ

本誌の PDF データのダウンロードができます！ スマートフォン・タブレット・PC でいつでもどこでも読むことができます。

※デジタル・トークラインは３か月限定公開です！

ID：TL1　パスワード：khjga0

『教育トークライン』2月号 予告　1月15日発行

特集　ラグビーからオリンピックへ
子供がこんなに伸びた「ラグビー」の指導法

西阪昇　向山行雄　谷和樹　根津盛吾
平山靖　溝端達也　宮森裕太　水川勝利
小松和重　橋本信介　河田孝文　林健広

教育トークライン：第517号
編集人：向山洋一
編集：谷和樹（編集長）、戸村隆之（副編集長）、手塚美和、橋本信介、久野歩、小嶋悠紀、長谷川博之、板倉弘幸（校正）、田村純子（編集実務）
発行人：向山洋一
発行所：東京教育技術研究所、TOSS
〒142-0064 東京都品川区旗の台2-4-12 TOSSビル
電話：03-3787-6564
FAX：03-5702-2384
印刷所：株式会社光陽メディア
DTP・編集：株式会社プラウ21

編集後記

▼新年恒例ＴＯＳＳ最大の合宿、掛川合宿が近づいています。この合宿では若手教師の授業対決講座があります。本特集でも扱われているＴＯＳＳ授業技量検定や各地のサークルで、メキメキと授業力を向上させている教師たちの授業対決です。ぜひ、合宿に参加し、若手教師の技量アップを体感してみてください。（戸村）

▼新学習指導要領実施に伴い、通知表の書式が大幅に変更されます。各校で行われている通知表の各項目の検討は、最終段階に入った頃かと思います。今後も『教育トークライン』誌では、新学習指導要領に対応した授業群の提案とともに全国で展開されている工夫された学校改革の取組も紙面上で公開していく予定です。（橋本）

▼ＴＯＳＳ授業技量検定の登場は日本の教育界における革命の一つです。教師の授業技量の向上を明確な「ライセンス」として示しました。アメリカでは、授業のやり方を「プログラム化されたライセンス」として身に付けていく先生がほとんどです。曖昧な上達論では、授業はうまくなりません。ぜひ多くの先生方に挑戦していただきたいです。（小嶋）

東京教育技術研究所 & 『教育トークライン』

タイアップ企画

● 今月のご紹介教材 ●

五色百人一首

スタートキット	2,000円（税込）
取り札	1,000円（税込）
読み札	1,000円（税込）

１回のご注文につき「五色百人一首きんちゃく袋」をプレゼント！
パスワード：ebmxi2

2月号で紹介！

五色百人一首 読み上げCD

3,000円（税込）
１回のご注文につき「五色百人一首下敷き」をプレゼント！
パスワード：bh3q9q

3月号で紹介！

語呂合わせで、完全マスター！　五色百人一首

4巻セット	7,040円（税込）
各巻	1,760円（税込）

１回のご注文につき「五色百人一首シール（非売品）」をプレゼント！
パスワード：mmj429

お申込み先

TOSSオリジナル教材　https://www.tiotoss.jp/
★掲載商品のタイアップ期間は2019年12月15日～2020年3月14日
※パスワードを入力して、３か月間お得に購入できます。

⇒ 詳しくは34ページをお読みください。

2020年
新しいスタートを
新しい“あかねこ”で

光村教育図書
〒141-0031 東京都品川区西五反田2-27-4
TEL 03-3779-0581　FAX 03-3779-0266
http://www.mitsumura-kyouiku.co.jp/

教育トークライン 1月号 2020
令和元年12月15日発行（毎月1回15日発行） 第517号
発行人：向山洋一　編集人：向山洋一　発行：東京教育技術研究所　〒142-0064 東京都品川区旗の台2-4-12　印刷所：株式会社光陽メディア

向山洋一 映像全集

～TOSS実践家53名による向山実践の様々な究明～

2020年1月 発売決定！

2019年 12月1日 特設サイトにて 予約開始！

DVD 全7巻 セット　55,000円（税込）
※セット販売のみとさせていただきます。

第一巻　教育技術論の原点「跳び箱は誰でも跳ばせられる」
第二巻　教室が熱中する討論の授業
第三巻　学力が向上する向山型算数
第四巻　社会的なものの見方、考え方をつちかう資料の読み取り
第五巻　子供のやる気と力を引っ張り出す行事指導
第六巻　言葉を追究する国語指導
第七巻　最先端自由試行の理科～STEAM教育～

※タイトルは仮題です。コンテンツも変更になる場合があります。

先行購入特典
スペシャル映像DVD
2019年8月に開催された向国・向算セミナーでの
手塚先生＋河田先生
林先生＋木村先生
小田先生＋伴先生
西田先生＋椿原先生
映像を収録。
（予定）

日本の教育界に
衝撃を与えた
向山実践の映像集

12月1日から 先行予約はこちら

https://www.tiotoss.jp/user_data/zensyu.php

製作　エンドレスポエトリー（株）
販売　（株）教育技術研究所
〒142-0064 東京都品川区旗の台2丁目4番12号
お問い合わせ先　0120-00-6564（平日9:30～17:30 / 土日祝日休）

<TOSS教材のご注文・お問合せ先>
東京教育技術研究所
〒142-0064 東京都品川区旗の台2-4-12 TOSSビル
Tel. 0120-00-6564　平日9:30～17:30 土日祝休
Fax. 0120-88-2384　24時間 365日受付中!
30th Anniversary 東京教育技術研究所 The Tokyo Institute of TOSS
www.tiotoss.jp

ISBN978-4-906938-67-4
C3437 ¥682E
本体 682 円 ＋税
バーコード

© 2019 TOSS, The Tokyo Institute of TOSS. Printed in Japan